

令和元年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

日時 令和元年9月20日(金) 14時～16時

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

令和元年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

当日次第

- 日 時 令和元年 9 月 20 日（金） 午後 2 時～4 時
場 所 大阪市立中央図書館 5 階 大会議室
1. 開会あいさつ
 2. 出席者紹介
 3. 議 事
 - (1) 事務局報告
 - ・ 平成 30 年度 第 3 次大阪市子ども読書活動推進計画の策定後の状況 (生涯学習部)
 - ・ 平成 30 年度 大阪市立図書館子ども向け図書館サービスの推移 (図書館)
 - ・ 区の子どもの読書活動推進連絡会まとめ (図書館)
 - (2) 特別報告
「こども本の森 中之島」について
 - (3) 事例報告
 - 【報告 1】住之江区役所と相愛大学との協働プロジェクト『あいあい相愛おはなしのへや』
 - 【報告 2】布の絵本を使ったみんなで楽しむ読み聞かせ
 - 【報告 3】図書館改造のねらいと活用の実際
 - (4) 学識経験者、社会教育関係団体代表者より助言
 - (5) 質疑応答
 5. その他
 6. 閉会

目 次

【特別報告】「こども本の森 中之島」について	2
事例報告【報告 1】住之江区役所と相愛大学との協働プロジェクト『あいあい相愛おはなしのへや』	2
事例報告【報告 2】布の絵本を使ったみんなで楽しむ読み聞かせ	4
事例報告【報告 3】図書館改造のねらいと活用の実際	4
意見交換	2
当日配布資料	
《資料 1》 「第 3 次大阪市子ども読書活動推進計画・概要版」	6
《資料 1-1》 大阪市子ども読書活動推進計画の実施状況	6
《資料 1-2》 子ども読書活動の取組みにおける平成 30 年度実施状況について（令和元年 7 月調査）	6
《資料 2》 「子どものためのイベント+施設ガイド・タッチ 令和元年度 夏」	6
《資料 3》 「学校図書館活用推進事業」について	8
《資料 4》 平成 30 年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	10
《資料 5》 区における読書活動の取組みについて	13
《資料 6》 各区 子ども読書活動推進連絡会のまとめ	21

《資料 7-1》	大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱	22
《資料 7-2》	大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱（改訂箇所明示）	22
《資料 8》	平成 29 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿	24
《資料 9》	平成 29 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿	25

— 事例報告 —

【特別報告】「こども本の森 中之島」について

経済戦略局文化部 こども本の森整備
担当課長 杉田順子

みなさまこんにちは。経済戦略局から参りました、こども本の森整備担当課長の杉田と申します。今日は貴重な時間をいただきまして、こども本の森の紹介をさせていただきますこと、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願ひします。

お手元に白黒資料が2枚とパンフレットがございます。映していただく物と同じですので見やすい方をご覧ください。

こども本の森ですが、皆様ご承知と思いますが、大阪出身の建築家安藤忠雄氏が、ご自分で設計した施設をご自分の資金で建て、それを大阪市に寄付して下さるといふものです。その建物を大阪市が、こどもが自由に本や芸術文化に触れることができる施設として整備し、来年の3月に開館予定です。

場所については、お手元の資料のパスかパンフレットの表紙をご覧くださいとわかりやすいと思います。こちらのパンフレットですと、中央いちばん奥が重要文化財の中央公会堂、その右手前が東洋陶磁美術館、いちばん手前の鉄筋コンクリートの建物が「こども本の森 中之島」です。緩やかなカーブを描いた建物になっていることがお分かりいただけると思います。鉄筋コンクリートの3階建てで、延べ床面積が約800平方メートルです。

外観イメージは、資料左下のパスのように中央部分が3階まで吹き抜けになって広い階段がずっとつながっています。壁一面に本棚が設置されておりまして、蔵書数が約25,000冊で進めております。Twitter をしており配布資料下にイラストとともにQRコードを貼りつけておりますので、皆さんぜひアクセスいただいてフォロー件数を増やしていただければ非常にありがたいです。ご紹介がたがた、よろしくお願ひいたします。

次のページです。こども本の森中之島施設基本方針概要版です。冒頭に仮称とついておりますが、正式名称を決定する前に発表いたしましたので、このようになっております。細かいのでかいつまんで紹介させていただきます。まずバックが木の

イラストになっています。中央にメインテーマということで、寄附者であります安藤忠雄先生からのメッセージがございます。「本を読むことは心の中で旅をすること。想像力の翼を広げページの向こうにひろがる未だ見ぬ世界に羽ばたこう。いざ、知の冒険に！」こちらをテーマとして基本方針を策定いたしました。安藤氏は、本に、特に文字に親しんでほしいというお気持ちと、子どもたちのワクワクするような建物であってほしいということを常々仰っています。

資料右の上段、企画趣旨ですが、様々な本との出会いや読書体験とともに芸術文化体験に重点を置いております。こういったことから、運用は図書館とは違ったものを考えております。

蔵書の配架はゆるやかなゾーニングで行うと打ち出し、NDCの配架とは違ったものを考えております。安藤建築の特徴を活かした配架というところにも重点を置きまして、魅力を高めるということに努めているところです。本の貸出は行いませんが、建物内だけでなく、中之島公園内に持ち出してご覧いただくというところが特徴です。こちらの運用につきましてもなかなか難しいところがございますので、詳細は検討中です。

運営の概要ですが、乳幼児から中学生とその保護者をメインターゲットとしています。蔵書の種類も子どもたちを対象としたものですが、もちろん一般の方々の入場も可能で無料でございます。このような方針をもとに、施設の運営管理は指定管理者が行うこととして進めています。

施設ができます中之島公園は堂島川と土佐堀川に挟まれた本当に水辺の空間が美しいところです。バラ園におでかけになる方もいらっしゃるかと思います。さきほども紹介した中央公会堂は重要文化財の重厚な建物です。文化と観光の拠点として、大阪市としても今後も精力的に開発というか力を注いでいくところです。ここに、本の森中之島ができることによりまして、今まで大人が多いかしらと思われていた中之島の地域に、子どもたちが加わることで、周辺の文化施設も新しい施設ができると、何か連携ができるのではないかという機運というか期待を感じているところです。その機運を逃さず、より良いように手をつないで進めていくことを目標にしているところです。

また、運用面につきまして、芸術文化の分野を

どのように特徴づけていくかが大きな課題です。子どもたちが物語の世界を表現するといったところについては、今お集まりの皆様が常に取り組んでいらっしゃるところでございまして、先進事例として私どもも参考にさせていただきたいですが、芸術文化に結びついていくような表現も探して行くというところが一番の課題、目標となっているところでございます。

最後にパンフレットのご紹介です。左側に安藤忠雄氏と山中伸弥氏の写真が載っております。山中伸弥氏は本年8月18日に名誉館長の委嘱式を無事に終え、今後も引き続きご支援をいただけるということで大変心強く思っております。施設の運営は、寄附金ですと賄っていくとのことなので、今後の寄附金の募集が大変な課題です。皆様にもご協力をお願いいたしますとともに、こんなイベントがあるよ、パンフレットを配ってあげるよというところ等がありましたら、ぜひご紹介をいただきたいと思っております。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

【報告1】住之江区役所と相愛大学との協働プロジェクト『あいあい相愛おはなしのへや』

相愛大学人間発達学部教授 学長補佐
兼子ども発達学科長 中西利恵

大阪市住之江区役所総務課 担当係長
福井智子

住之江区役所総務課の福井です。「あいあい相愛おはなしのへや」について中西教授に詳しい説明をお願いする前に、その背景にあります「咲洲あいのもりプロジェクト」について簡単に説明させていただきます。お手元の配布資料の45ページを合わせてご覧ください。こちらは住之江区の広報紙4月号の抜粋です。

住之江区にある南港ポートタウンはまちびらきから40年が経過し、区内でも高齢化が顕著に現れている地域です。緑が多く、車の進入規制もあり、特色ある大学が存在するこのまちに、子育て世代を呼び込もうと様々な取組みを進めているところです。その一つが「咲洲あいのもりプロジェクト」です。これは咲洲地域で大学や企業がそれぞれ行っている健康に関する取組みを、連携協力により

一体的に発信することで、南港ポートタウンを含む咲洲地域が心身ともに健康的なまちであるとして広く認知され、まちの魅力向上につながることを目的としているものです。ではその代表的な取組みである「あいあい相愛おはなしのへや」について、中西先生よろしく申し上げます。

相愛大学の中西です。今日は報告の機会をいただきありがとうございます。皆様のお手元にお配りした資料はスライド12枚分です。こちらの方で用意させていただいたのは26枚ですが、資料の方はポイントと印刷して差し支えないスライドを配付させていただいています。

まず決して宣伝ではないのですが、なぜこの協働プロジェクトを推進しているかについて、本学の学科の教育方針等が関連しますので、少し紹介させていただきます。相愛大学子ども発達学科は、保育士資格、幼稚園教諭1種免許、小学校教諭1種免許の3つの資格・免許を取ることができるので、学生たちは、将来保育所や施設などの先生を目指して学んでいます。大阪市内の南港にあります、非常に緑豊かで、ビオトープ、里山があり、田植えをしたり、稲刈りをしたり、芋ほりをしたり、大きなツリーでクリスマスをしたり等、地域の親子や園児、小学生らが来ています。教育の方法として、キャンパスで子ども達と一緒にこういった活動をして、いろいろな体験的な活動を地域と連携して実施することで、体験で育つ。それに資するULTRA オリジナル自然学習、ULTRA オリジナル科目を作って将来を担う先生を育てる、その中で今回ご紹介する協働プロジェクトも展開しているというようにご理解ください。こういう背景と趣旨で子ども発達学科が当事業を担当しています。

相愛大学は130年の歴史がありますが、我々の人間発達学部は2006年開設です。開設次年度から子育て支援事業を開始して、古くは「よつばのクローバー」や2014年「PA(プロジェクトアクティビティ)」事業、あそびの広場等、いろいろ実施してきました。PDCAサイクルで実施しておりますが、課題として、学生や教員が絵本の読み聞かせ活動を中心としたプログラムの導入、子どもの発達支援の役割と学生の専門性の向上(子どもの発達段階に応じた絵本の選択力、感情を共有できる共感力や表現力、絵本に関わる事業の企画力などの学びを深める)、そういった観点からの活動を検討しておりました。そのころ「あいあい相愛おはなしのへや」開設のお話を住之江区役所政策推進

室から本学図書館の方へいただきました。学内で検討しまして、子ども発達学科が担当となりいろいろな方法を提案してここに至りました。その際に区の方から補助をいただき、常設でなく可動式でどこにでも持っていける本棚と絵本 162 冊を購入させていただきました。その後も定期的に大学が追加しております。2016 年度に覚書を締結し、開設して現在 4 年目となります。実施の回数ですが、年 7 回から 9 回で実施してきましたが、担当教員 3 名で、学生も授業が詰まっていますので、無理のない形で質を落とさずということで、今は 2 か月に 1 回のペースに落ち着きました。お父さんも来られるように土曜日も実施しています。

運営実施の担当は子ども発達学科の教員 3 名と学科助手 1 名です。助手は保育所勤務経験者です。実施のもう一つの主要メンバーとして「おはなし隊」というものがあります。おはなし隊のメンバーは学生です。ULTRA オリジナル科目である「保育・教育マネジメント B・C・D」を 2 回～4 回次で履修している学生が参加できます。履修してなくても希望する学生は参加可です。参加者は親子 15 組、事前申し込み制です。

実施内容ですが、いろいろなお話を様々なスタイルで読み聞かせ、上演しています。

開設の趣旨は 2 点あり、ひとつは、親子の発達支援、絵本を通し心豊かに子どもに育ててほしい。子育て家庭に、絵本のおもしろさをさらに知ってほしい。おはなしを楽しむことを通して、子どもだけでなく大人も感性を高めコミュニケーションをさらに豊かにしたい。何より本好きの子どもを育てたい。という点です。もう一つは、おはなし隊として参加する学生の専門の向上、実践力の向上です。そういう意味で教育方法の開発も同時進行で行っています。

「あいあい相愛おはしのへや」という名称ですが、学生たちの想いがこもっています。「相愛」は「あいあい」とも読めます。実は大学に来ている高校生たちが、学生たちと話をしているつづやいたことがきっかけです。地域で通称「あいあい」として覚えてもらい、「今日はあいあいの日だね」「あいあいに行こう」と言ってもらえるようにという想いを持ってつけました。

スライドのような案内ちらしを置いています。広報については、広報誌に載せてもらうなど住之江区にご協力いただいています。運営実施は子ども発達学科で行っています。取組みには、咲洲・あいのりのロゴをつけています。実施の際には、

保護者の方には活動で写真を撮ることは了解を得ています。

昨年度はほぼ 2 か月に 1 度、6 回の実施でした。活動表を用意して、「どう展開するのか」、「どういう観点でやるか」、ひとつひとつの活動について、学生たちのこのお話をやってみたい、親子に聞いてほしいという気持ちを尊重し、おはなし隊と教員で相談してプログラムを決め、進めています。前半は上演主体、後半はおはなし隊と一緒に自由に絵本を読んだり、遊んだりして楽しむ時間となっています。基本はこういう形ですが、たとえば、クリスマス時期であればクリスマスにちなんだおはなしを考えたりします。

前半の部分の様子を見ていただけたらと思います。(写真)みながよく知っている『おおきなかぶ』ですが、学生たちがどういう台本にするかを考えてやっています。この学科で一番背の高い学生がかぶの役をしています。

この写真は子どもたちもおはなしの世界にひきこまれ、気が付いたらいっしょにかぶを引っばろうとしているところです。

『おべんとうバス』はバスを一緒に作っているところ、『ぞうくんのさんぽ』は大型絵本の場面と一緒に演じながら読み聞かせています。『ともだちや』は少しお話が長いですが、年長や小学生が多いときはこんなお話もしています。後半の、おはなし隊が常時 20 名から 25 名ほど居ますので、一人の子どもに必ず一人の学生が付いて、可動式の本棚から好きな絵本を見つけてきて一緒に読んでいる様子です。

学生たちは青の名札、おはなし隊は色とりどりのスカーフを体のどこかにつけて目印にしています。この写真はばあば（祖母）のおひざの上でおはなし隊が読み聞かせをしています。お母さんのひざの上の子どもたちは兄弟ではないのですが一緒に読んでいます。

後ろに見えているのが可動式の絵本棚です。そこから好きな本を取ってきて読みます。座ったままだったり、寝転がったり、立ったままだったり、それもありだよ、としています。

地域の園児を呼んで開催することもあります。

2 つめの趣旨・目的については、学生の専門性の向上を目指し、大学機関として教育方法を開発し、学科科目「保育・教育マネジメント B・C・D」を履修し、おはなし隊に加入している隊員たちが、この「あいあい相愛おはしのへや」を実施して

いるという形になります。教員が、どういった絵本がどういった年齢に適しているか授業でも指導していますが、なかなか実践の場がないのでこういった場で実践しております。

2 回生が B、3 年生が C、4 回生が D を履修でき、その都度単位認定が可能です。2 年生から 4 年生で「保育・教育マネジメント」を繰り返し継続して受講できます。学年が上がると中心的立場となり下の学年に教える姿がみられるようになります。保育園の縦割り保育の大学のイメージです。学生は周辺的位置での参加から中心的位置での参加となり、そして社会に出ていきます。他者との交流を苦手とする学生の不安や苦手意識の解消にもつながっています。1 年間を通じて開講しており、決められた時間以外にも先輩と打ち合わせと一緒に絵本の選定や読み聞かせの練習をしております。こういった形の展開の教育方法を取り入れて「あいあい相愛おはなしのへや」の質の維持をしています。

先生が指導するよりも、こういう先輩になりたいという、身近なモデルを真似することで学びが深まります。段階を踏んで役割をだんだん大きくしていきます。学びの場ではありますが、社会貢献としての活動でもあります。

学生たちは実施した後、振り返りを書いています。その中で、たとえば 2 回生には「先輩のリードで学ぶことがあった」、「どうしようかと思った時、先輩が近くにいてくれて安心感があった」等の記載がみられます。4 回生になると「下級生がどんどん私たちから盗んで行ってほしい」といったコメントが書かれていたりします。自己肯定感が低いと言われている今の学生も、段階を積み重ねることによって自己肯定感を高めていくようすがみられます。

最後に、子ども発達学科の学びのシステムでは、保育・教育志望学生を育てるためのアクティブラーニング養成です、今見ていただいたような形で先輩のモデルを見ながら、見通しを立てながら、という目的をもって専門性の向上を実現していくシステムの中に「あいあい相愛おはなしのへや」も組み込まれています。

教育方法の充実および強化として、読み聞かせに関してもっとより確かな専門性を高めることを目的に、認定絵本土養成講座の開設を申請中です。12 月中には結果がわかると思います。

認定絵本土は、絵本専門士という大変な人気資格の前段階の資格です。大学として知的資源を活

用し、子どもの読書活動の推進を担う指導者の養成を行うことは、地域・社会への貢献として位置付けられ、公共性も高いです。学生に対しても今の授業以上に専門性をつけたいということで、住之江図書館にもお世話になり図書館司書の方にも講座を担当していただく予定です。このような取り組みを通して読み聞かせ推進を今後とも充実させていきたいと考えています。

【報告 2】布の絵本を使ったみんなで楽しむ読み聞かせ

布の絵本ボランティアグループ FUERUTO (フェルト)

布の絵本制作グループ「FUERUTO」の呼元（よびもと）です。私たちのグループの活動と、布の絵本についてのご紹介をします。

日本の布絵本は、1975 年に北海道のふきのとう文庫が肢体不自由などハンディキャップのあるこどものために作り始め、現在は各地に制作グループがあります。近年は幼児向けの市販品も増えています。

「FUERUTO」は、2001 年大阪市立中央図書館の「布の絵本をつくる」という養成講座の受講生が始めました。

最初は、ふきのとう文庫が販売している制作セットを作っていましたが、現在はオリジナルの絵本を作っています。布絵本は、布の台紙にフェルトやいろいろな素材を使い絵を表現します。ボタン、スナップ、ひも、ファスナーなどを動かして楽しむことができるため、手や指の機能訓練、思考の訓練にもなるといわれています。

それぞれの絵本ごとにいろいろなねらいをこめます。例えばひまわりは「ぷっちゃん」という本の 1 ページで、スナップをとめて花を咲かせます。右の「うんどうかい」絵本の綱引きは両側からひもを引き合うことができます。左は「しかく」という形を知るための本で、このページではサイコロを組み立てることができます。右の絵本は「すうじのうた」に合わせて数字を絵にはります。

これは、「かぐやひめ」と「たなばたまつり」です。竹からかぐやひめや小判を出したり、かささぎの橋をかけて彦星を渡らせる、など各ページの仕掛けを動かしながらおはなしを進めます。これらの、直接絵本に働きかけることができる特徴や布のやさしい手触りは、幼児から高齢者まで、

全ての方に楽しんでいただけると幸いです。

私たちグループの例会の写真です。2017年の養成講座受講生も加わり、毎月第3火曜日に制作し、完成した本を中央図書館に寄贈しています。障がいのある方や、読み聞かせグループには借りていただけますが、一般の個人貸出はしていません。

書棚に並ぶことがないので、目にする機会は少ないと思います。

(例会の写真)

布絵本は、原案の絵から型紙をおこし、試作します。

意見をだしあいながら修正し寄贈する絵本を仕上げますが、一冊を完成するまで1年以上かかります。

次に、布絵本を動画で見いただきます。制作写真で紹介した「くりすます」と歯磨き絵本「ピッカピカ」です。

続いて、2016年「布絵本フェスタ」おはなし会の一部をご覧ください。歌の絵本「ラララ〜」、物語絵本「ねずみのよめいり」、紙の絵本「わにわにのごちそう」の読み聞かせから布絵本「おべんとうつくろう」へ、という内容です。

(動画)

今日みていただいた布絵本は、試作段階の歌の絵本「ラララ〜」以外は貸出できます。布絵本は、おはなし会前の待ち時間に親子で楽しんでいただくのもよいと思います。

また、中学校のおはなし会で使ったときは、小さい子にお話をしてみたい、作ってみたい、という声が上がりました。

貸出は、もよりの大阪市立図書館へご相談ください。本日の資料に、利用する場合の案内と、大阪市立図書館で所蔵している布の絵本のリストを掲載しています。大阪市立図書館ホームページの障がい者サービスページにある資料リストからご覧ください。

蔵書検索をする場合のキーワードは「布の本」です。大阪市立図書館の蔵書には、ふきのとう文庫や他のグループが考案した絵本もあります。

制作した絵本の写真入り紹介ページを用意したいと考えていますが、まだ先になりそうです。できるまでは、中央図書館で実物をご覧ください。

今日はロビーの方に、ふきのとう文庫の布の絵本や、視覚に障がいのある子どもたちのために作成された「さわる絵本」、そのほか参考資料も一緒に並べてありますので、お帰りの際にご覧ください。

い。傷んだ絵本は修理するので、遠慮なくお使いください。返却のときに、壊れた所やなくした部品のメモをつけていただければ助かります。

実際に使ってみて、こんな布絵本が欲しいという声もお寄せください。

制作に加わっていただける方も募集しています。

読み聞かせに、布絵本を自由な発想で、たのしく活用していただけると嬉しいです。

よろしく願いいたします。

【報告3】図書館改造のねらいと活用の実際

加美東小学校 教頭 千原信一

同 教諭 山口哲平

加美東小学校の千原です。早速ですが、加美東小学校の図書館改造のねらいと活用の実際の実績を報告させていただきます。

加美東小学校はかつて荒れている状態であり、経年調査の全国学力学習状況調査の結果も残念ながら大阪市の平均を下回っている状態でした。国語科でいうと読む力、B問題、社会でいえば資料活用のところがとても課題が多かったです。ここからわかるように、文章の読み取りや読解力に大きな課題がありました。

当時、毎週、図書の日、子どもたちがおしゃべりしていたり、走り回ったりしているだけでなく、教員が子どもたちを注意することなく、宿題のマル付けをしていたり、テストプリントをさせていたり、教員自身が時間を大切にしていませんでした。学級文庫も破棄される前のボロボロの本で誰もさわっていない状況で、当時は子どもたちが本を読みたくならない環境でなかった。子どもの様子は教科書以外の活字を読まないという、そもそも文字を見ることを嫌がっている状況でした。その後さまざまな改革をして学校は少しずつ落ち着いてきました。その中で子どもの学力向上につなげていけるように、全教員の教育を通じた資質を高めていきました。教室だけで学力向上を図るのではなく、子どもたちの周りにある学校内の様々な所を好奇心を刺激する、高めるようなものに変えて、学校総体として子どもの学力向上を

目指しました。その中でまず初めに手をつけたのが、学校の図書館です。コンセプトは二つあり、本を手に取りたくなるようなことと、カフェのような過ごしやすい空間、行きたくなるようなところということ、この二つをコンセプトとして改装していきました。

書店や先進的な図書館からヒントを得て、どんなふうにしたら本を手に取りたくなるのか、中央図書館も参考にしながら、考えていきました。

空間づくりは建築家や照明設計士からヒントをもらって、どうしたら過ごしやすくなるかを考えて作っていきました。

改装にあたってのメンバーはチーム制を導入し、校務分掌とは関係なく、図書室改装にあたって、参加したいメンバーを募集して、教員だけでなく、事務職員なども集まって私がリーダーとなって進めました。熱意があるメンバーが集って話し合いができました。本の種類ですが、書店に足を運んで、どんな本が今人気があるのか聞いてきて、読み物教材、ビジュアル図鑑類、百科事典などを購入しました。目指したのは知的好奇心を高める空間としての場です。よくよく考えて総がかりで図書室の改装を進めていきました。それでは完成した図書室を動画をご覧ください。

その後、子どもの変容がどうだったかという、改装前にアンケートを取っていました。本を手取るのに抵抗があるかどうか、という質問に改装する前は60%くらいの子が抵抗があると答えていたのが、改装後は10数%になっています。大幅に子どもたちの変容が伺えます。そのほか、書いているとおりに見えて子どもたちの様子が変わってきました。学習にきちんと向き合えるようになったり、様々なことにより関心を持ったり、図鑑で調べたりと、子どもたちの好奇心の高まりが感じられるようになりました。

それだけでなく教職員の変容もあります。それまで、図書購入については机の上にある、図書パンフレットから選んでいくのが殆どでしたが、自分で書店に足を運んで自分の学年に人気のある本を調べて買うなど、子どものニーズに

より敏感になる教員が増えるようになりました。教職員の読書をする姿が見られ、週末に食事でも行こうか、といった時に、その場で先生同士ビブリオバトルをしないかというような話が出るようになり、先生自身も変わってきました。チーム制をとりましたが、改装するにあたっては教職員が全員参加でやりました。最初に言った図書の時間にマル付けをする先生もほとんどいなくなりました。子どもと一緒に読書している教員の姿も増えています。活用推進の工夫も全校体制で行っています。具体的に何をしているのかについては山口より報告します。

山口です。よろしくお願ひします。では、活用推進事例として6つ紹介します。せっかく改装した図書館なので、どんどん活用していかなければいけないということで、「常に開いている図書室」という状況になるように活用促進を行いました。15分休憩、昼休み、放課後は必ず毎日図書室を開けているだけでなく、火・水・木曜日は、朝子どもたちが登校してから下校するまで、放課後の時間も含め一日中図書室が開いている状態が作れるように、ボランティア、児童、学校図書館補助員で協力いただいています。図書室を活用すると、鍵を開けてパソコンを立ちあげると、手間を考えると、足を運びにくくなる場所ですが、常に開いているという状況で、10分休憩でも気軽に図書室へ行って貸し借りするということが増えました。

図書館補助員の方には、読書運動会と題して、本を読んだらシールを貼るといった掲示物や、本を読めば答えがわかるクイズの掲示、など読書推進の工夫をいただいています。今日来ておられるコーディネーターの山本さんには授業に参加していただいたり、日ごろからアドバイスをもらったりしながら子どもたちの読書推進を図っています。

次に「図書と音楽のコラボレーション」ということで、図書室でプロの演奏家に生の演奏をお願いしました。読書をする際にバックミュージックとして音楽を流すのはよくあるかと思いますが、ハリーポッターのような映画から読書に手を伸ばすということがあるように、音楽から本の世界へ発展していくことをねらいとして

行いました。

ちなみにこの日は、クリスマスの音楽からクリスマスの絵本を紹介したり、高学年対象にブレーメンの音楽隊の英語での読み聞かせを聞いたりという実践を行いました。

「NIE（教育に新聞を）の実践」にも取り組んでいます。毎日届く新聞を誰でもいつでも手に取れるように、毎日、図書室に新聞を置いています。この写真は昨年度5年生の子どもたちの様子ですが、昨年度からNIEに年間通して取り組んでいます。朝日新聞の方にこうして来ていただき新聞を活用した講座の実践を行っていただきました。最近子どもたちが図書室で新聞を広げる姿が多く見られるようになりました。今年度は来月から読売、毎日、朝日、産経、日経の5大新聞が毎日学校に届きます。図書室で読み比べが行える環境ができます。

次に、「百科事典を活用した調べ学習」にも取り組んでいます。小学校でも「百科事典を活用した調べ学習」が重要視されるようになっていの中で、本校でも調べ学習に重きを置いて取り組んでいます。これは4年生児童を対象に、ポプラディアから講師を派遣してもらって調べ学習に取り組んでいる様子です。昨年度は「理科博士になろう」をテーマに、深く探求し、調べることのできる子どもたちを育てたいということで、調べる・まとめる・発表するなどの実践に取り組みました。使われている百科事典はポプラディアで6セット用意していただきましたが、本校の図書室にもポプラディアの最新版をすべて揃えているだけでなく、様々な調べ学習に使える辞典などを置いて調べ学習を充実させるということに取り組んでいます。地域の特性上、高価な辞典をそろえることができない家庭も多く、図書室に揃っているということで子どもたちが進んで図書室に来るといった姿が見られます。

「ビブリオバトルの実践」を読書推進、読む力、表現力の向上などをねらいとして行っています。一昨年度より3年生、昨年度は5、6年生、今年度は1年生から6年生まで行っています。昨年度は月に1度のペースで開催してありまし

た。ビブリオバトル普及委員会の益井さんにも来ていただき、図書室で実際に実施しているところを見ていただいて投票していただきました。子どもたちが、これまで借りる本は絵が多く字が少ない本が多く、特に借りたい本がない、ということが多かったのですが、ビブリオバトルで勝つためにはということを意識した本選びをする姿が見られるようになりました。図書室に足を運ぶ回数も増えました。卒業して中学校でもビブリオバトルをしているということです。

教頭の方からも話がありましたが、「読みたくなる本の購入」を進めています。読ませたい本でなく、そもそも子どもたちが読みたい本を購入しようということで、人気の本を調べて書店で購入することが増えています。図書室にある本と重複していないか、貸出数が多い本は追加で購入しようかという考え方で購入する教員もいます。また絵本作家のあおきひろえさんにお越しいただいて、子どもたちを対象に読み聞かせや絵本の素晴らしさの講演を行いました。この方の著書も図書室に置いております。

こうした取組みを通して、図書室以外にも変容が見られるようになってきました。学級文庫も子どもたちが読みたくなるような本の置き方をしたり、各学年専用の廊下にも子どもたちに読んでもらいたい、読みたくなるような本を掲示したりなどしています。中庭の発表スペースでは、読みきかせを行っており、今年度は図書委員会の子供たちにビブリオバトルをそこでしてもらおうということも計画しています。こういった様々な取組みの背景には、読書を通して子どもたちの学力向上に取り組んでいくというだけでなく、先ほど「こども本の森 中之島」のご紹介で安藤先生の言葉「本の向こうに広がるまだ見ぬ世界に羽ばたこう」が紹介されましたが、まさにその通りで、本を通して新しい知識、新しい世界に出会える、本の中で子どもたちの人生が広がっていく、豊かな未来に向かって生きていく基盤を作るということではないかなと思っています。このような読書活動の推進に学校全体で取り組んでいきたいと考えています。

— 意見交換 —

【学識経験者より】

久 隆浩（近畿大学教授）

今日は私もいろいろと学ばせていただいたと思います。三木館長より小さい時から読書に親しんでいく必要性の話がありましたが、我々の大学では新生入生に思考学力テストを行っており、読書量のアンケートを取っていますが、読書量が多い学生は思考力があるという結果がそこで見事に出了ました。そういう意味では小さい時からの読書は非常に重要だということが、学生を通じてわかりました。

「こどもの本の森 中之島」のお話をいただきましたが、私は司馬遼太郎記念館の本棚を思い出しました。壁一面本棚という点、似ているなと思いました。館長の上村さん、義理の弟さんからお話を聞きまして、司馬遼太郎先生は市立図書館で高校生のときほとんど閉館までべったり本を読んでいたとお聞きしました。その経験で作家をされていたのかと思います。

実践活動の報告ですが、みなさん、楽しんでいろんなことをやられているのが共通していると思って聞かせていただきました。これが共通のキーワードになるかと思います。相愛大学さんの取り組みでは、みんながハッピーになると聞いていて思いました。大学、学生、地域にもメリットがあり、メリットをつないでいってうまく回してらっしゃると思いました。こういう関係を他の所でも作り上げていたら良いと思っています。地域の方々には様々な技術や資源があり、それらをうまくコーディネートし、つないでいくと、いろいろなことがうまくいくと思います。

FUERUTO さんの布の絵本について、AI 時代に入った中で、ある意味、逆行しているといえますか、手作りで時間をかけてしっかりと布絵本を作ってください、それを感覚で楽しむことが、まさしく AI 時代になっていくからこそ重要と考えました。またユニバーサルデザイン、誰でも一緒に絵本で楽しめる機会を提供して下さっているという言い方もできます。読書活動にこだわらなくても手芸が得意な方にも携わって

いただけたら、一つの作品の複製をたくさん作っていただき、どんどん作品が増えていくのではないのでしょうか、様々な技術や趣味を持った方をうまく巻き込んでいくことでさらに幅が広がっていく可能性があると思います。

加美東小学校の事例にはいくつかのキーワードを感じました。私の専門はどちらかというと環境づくりと空間づくりですが、今まで小中学校の図書室をうまく活用されている学校図書館の事例をお聞きすると、意欲的な空間づくりが共通しています。加美東ほど徹底的に意欲的な改造をされている事例は初めてお聞きしましたが、過去の発表でもうまく図書室に子どもたち呼び込んでいる小中学校では、意欲的な空間を作っておられます。空間はとても重要で、特にプロの知恵を借りながら回しているのがうまいと思いました。

共感をしていただけるメンバーを募ったことについて、やらされ感でやってしまうのではなく、一緒にやろうよという共感でつながっていく、そうすると発表にもありましたように、自分たちが作ったという気持ち、大切に作る気持ちが出てきます。その気持ち子どもに伝わり、子どもたちが図書室に足しげく運んでもらえるようになったのではと考えました。もう一つ、共感で集まるとメンバーがものすごくクリエイティブ、創造的となり、より図書室が魅力的になっていきます。最初の仕掛けに共感を共有できるようなメンバーを集めたことが良かったのではないかと思います。これから地域の中で様々な活動をされる際には、共感を共有できるメンバーが集っていくような仕掛けが大切かと感じました。

村岡益子（全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー）

発表いただいたみなさま、ありがとうございました。

FUERUTO の皆さん、布の絵本、私も作ってみたいと思いました。火曜日に行こうかと思いました。相愛大学の「あいあい相愛おはなしのへや」

の取り組みをお聞きして、相愛大学の学生の皆さんは、心豊かな温かい先生になられるだろうと思いました。

昨年、加美東小学校の学校図書館の状況を聞き、私が所属している大阪学校図書館教育研究会が、見学に行かせていただいております。残念ながら私はその時行けませんでした。本日詳しく取り組みを聞かせていただけて良かったです。久先生もおっしゃったようにチーム制をとったことや書店に足を運んで選書しておられることが、素晴らしいです。加美東小学校の教職員の皆様、本当におつかれさまでした。学校図書館の館長は校長です。やろうと思ったらここまでできるのです。校長先生の学校経営を教頭先生が支え、子どもたちのために頑張ろうという全教職員の共通理解があつて初めてのいろんなことができます。素晴らしい取り組みだと思います。

今日の発表とは少し離れますが、お話したいことが2点あります。

先ず、あるお母さんからのお話です。「うちの子、学校図書館に一度も行けなくて中学校を卒業しました。」と仰いました。「行かなかったのですか?」「いえいえ、行かないのではなく、行けなかったのです。」私は絶句しました。お子さんは車いすでの生活でした。もちろん学校生活もそうです。学校にはエレベーターがありますので、2階3階にある教室や特別教室には行けたのですが、学校図書館へはエレベーターを使っても行けなかったのです。学校図書館は教室と同じ3階にあったのですが、増築校舎であったため、学校図書館へ行くにはエレベーターで3階まで上がっても次に急な階段が7段ありました。中学生は大きいので、人の手では車いすを運んであげられなかったのかもしれない。すべての学校に学校図書館が設置されていると言いますが、考えられないような実態があったということです。

このお母さんの話を聞いてから4年、2016年に、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、いわゆる「障害者差別解消法」が施行されました。この法律は、国の行政機関、地方公共団体、民間企業などに対し、障害を理由とした不当な差別を禁止し、合理的な配慮を提供

することを定めたものです。この法律が施行されて今年で3年目になりますが、大活字図書や点字図書の購入、リーディングトラッカー、読書補助具等、学校の予算で整備できるものは大分進んでいます。エレベーターやスロープなどの設置も少しずつは進んでいます。工事を伴い多額の資金が必要ですのでなかなか厳しい現状です。みなさんも市民として自分が住んでいる校区にある学校は大丈夫かなという気持ちでウオッチングしてください。それが大事かなと私は思います。

次にお話ししたいことは、「学校図書館」という雑誌の特集記事についてです。

この雑誌は、月に1回発行されています。読まれたことがありますか。私はこの「学校図書館」の11月号を楽しみにしています。その理由は特集として、「学校読書調査」の報告が掲載されるからです。インターネットでも見られますので興味のある方はご覧ください。

「学校読書調査」は、毎年、全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で実施しています。

2018年度の結果で少し気になることがありました。1か月間の読書冊数の調査で減少が大きいの、小学校です。特に4年生がすごく下がっています。不読者率については、高校生が60%に達しているとか言われていますが、どの校種も増えています。特に1年間にしてみると、小学校が2倍に増えています。原因は不明なのですが、その原因と思われることとして、1. 授業時間の確保のため読書の時間が減っている。2. 中学年向けの適切な読み物が少ない。3. スマートフォンの影響。の3点です。今年の結果はどうなっているか、楽しみでもあり心配でもあります。子どもの読書活動に関わるものとしては、このデータを心に留めておくべきことだと思います。1や3については、私たちボランティアや公共図書館員に関わるのは難しいのですが、2については、関われる余地があるのではないかと思います。絵本で本の楽しさや読んでもらう心地よさを知らせることはできます。適切な読み物は確かに少ない、しかし、ないわけではないと思います。子ども達は、ひらがな、カタカナ、漢字が読めるようになり、自分でも読みたいと思います。でも立ち止まってい

るのです。何を読んでいいかわからないのではないか、自分にぴったりの本に出会えないのではないかと想像します。小学校3年生・4年生がぶつかる読書の壁です。ボランティアとして何か手伝えることはないかと考えたいですね。有効な方法は難しいけれど「ないです」と言っている場合ではないと思うのです。

皆さまにおかれましても、大阪市の子ども読書推進のリーダーとして今後も活躍していただけたら嬉しいです。よろしく願いいたします。

【大阪市 PTA 協議会より】

谷村利貴（大阪市 PTA 協議会研修委員長）

はじめて寄せてもらって、どういう会なのだろうと思っていました。今日3団体の事例発表を聞かせてもらって本当に感動です。去年まで幼稚園のPTAをしていて、読み聞かせに関しては本当に大切だなと感じていました。特に親自身が本に興味を持って子どもたちに本の素晴らしさを伝えていくことが一番まずは基本になる中で、加美東小学校さんのような学校がさらに後押ししていただくことで、子どもたちの本についての興味が深まっていき、安藤さんの言葉のように、未来に広がっていくのだなということを感じました。

梅原啓志（大阪市 PTA 協議会広報情報推進委員長）

興味深く事例報告を聞かせていただきました。印象に残っているのは、加美東小学校の図書館の先生方のプレゼンが、空間プロデューサーやコンサルの方がカフェの改築事例をされているようでした。ぜひ、うちの学校もお願いします・・・と依頼しそうになりました。このまま図書館の取組みを続けていただければと思います。

【大阪市生涯学習推進員協議会より】

豊嶋睦子（大阪市生涯学習推進員協議会副会長）

今日、中之島の新しい建物、こども本の森の担当の方から取組み、事例発表を拝見させていただきました。自分自身がワクワクしました。個人的に小学校の学習支援のボランティアをしています。子どもたちは1年生のときは初めての宿題にワクワクしているのがわかるのですが、

文章題が出るととたんに、まずは「わからない」次に「めんどくさい」と言ってきます。そこでどんどん学習意欲が低下していくのが目に見えます。どうしてそうなるのかというと、結局、読むことに常に触れていないことが原因かな、文章を読む力が、学習にも大きく影響するのだなと感じています。ぜひ、こどもたちにもわくわくするような仕掛けを、先ほど先生もおっしゃっていましたが何が、きっかけで読書の壁を越えるかわからない、私の息子も昆虫が好きで、幼稚園に入ると隅から隅まで昆虫図鑑に目を通し、自然に活字を覚えていきました。読まないということではなく、読みたいという衝動にもっていきは大人。今日感じたワクワクを共有していただき、子どもが読書の壁を超えるきっかけをつくっていただけたらと思います。生涯学習推進員協議会としてできることは活用していただけたら、いくらでもさせていただけると存じます。

岡崎仁子（大阪市生涯学習推進員協議会副会長）

本日、非常にワクワクした気持ちでいます。実は地元で生涯学習推進員と同時に、中学の元気アップのコーディネーターもしています。生涯学習としては第3次計画で地域のいろいろな学校や団体と連携をとって、進めていこうというお話になっています。皆さんよくご存じだと思いますが、今私の地元の中学では校舎の建替えがあり、学校図書館を1階に設置し、ゆくゆくは小学生にも開放し、地域のみなさんにも開放できるようにしよう、今日、加美東小学校の先生にご紹介いただいた、カフェテリアのような、誰でもが朝から夜まで来れる図書室を作ろうとしています。今、元気アップのボランティアは30名、月曜日から金曜日までの放課後開放。毎週土曜日には土曜学習ということで、中学校の卒業生が自主勉強として先生役として勉強の仕方を教えにきていただいています。生涯学習で、手芸の講座がありますが、自分たちの好きなものを作るのも一つだけれど、地域の役にたつ布の絵本を作ってみるのもひとつかなあと、今日の会議に出席させていただき、いろんなヒントを持って帰ることができました。

座長（川窪）

ありがとうございました。

では、これまでの報告に対して、ご意見、ご質問をいただければと思っておりましたのですが、すでに閉会の時間が迫っております。もしここでどうしてもという方がおられましたら挙手していただきたいのですが、どなたかいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

以上をもちまして、議事はすべて終了しました。みなさま、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

「大阪市子ども読書活動推進計画」とは

計画策定の経過

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境を推進していくことは極めて重要です。

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」（推進法）が施行され、子どもの読書活動の推進に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにしました。同法において地方公共団体は、推進計画を策定するよう努めなければならないとされています。

国

「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
平成14年 → 平成25年（第三次基本計画）

大阪府

「大阪府子ども読書活動推進計画」
平成15年 → 平成28年（第3次計画）

本市における計画策定 「推進法」第9条第2項に規定される「市町村子ども読書活動推進計画」

【第1次計画】 国の「基本計画」、府の「大阪府子ども読書活動推進計画」を基本として18年3月策定

【第2次計画】

- 平成19年度から毎年、有識者、社会教育団体、各区のボランティアグループ代表者等で構成する「大阪市子ども読書活動推進連絡会」（以下「連絡会」）を開催し、学校、図書館等における実施状況の報告・検証を行う。
- 素案について「連絡会」での有識者等からの意見聴取を行い、原案作成
- 平成24年12月教育委員会議での審議、パブリックコメントの実施
- 平成25年3月教育委員会議で可決、4月公表

- 平成27年4月 改正学校図書館法の施行
- 平成29年3月「大阪市教育振興基本計画」・「生涯学習大阪計画」改訂
「大阪市教育振興基本計画」施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援
取組み:学校図書館の活性化、市立図書館から小・中学校への図書の団体貸出、地域図書館の整備など
目標:「全国学力・学習状況調査」における不読回答、読書好きの児童・生徒の割合を全国平均に

第2次計画、「大阪市教育振興基本計画」を継承して、第3次計画を策定する

「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の振り返り

重点的取組みと成果

10項目中6項目達成

重点的取組み	23年度 実績	28年度 (目標値)	達成
① 子育て支援施設での読み聞かせ	97か所	110か所(105か所)	○
② 学校図書館(小) 週当たり開館回数	4.2回	7.6回 (5回以上)	○
③ 「読書が好き」な児童・生徒の割合(「全国学力・学習状況調査」)	(小) 66.6% (中) 56.8% 【H24年度】	(小) 69.9% (中) 59.6% (全国平均(小) 74.6%(中) 69.9%)	△
④ 昼休みや休みの日に学校図書館や地域図書館を利用しない児童・生徒の割合(「全国学力・学習状況調査」)	(小) 48.1% (中) 72.8% 【H24年度】	(小) 45.0% (中) 71.9% (全国平均(小) 31.1%(中) 58.0%)	△
⑤ 市立図書館 児童書の貸出冊数	270万冊	312万冊(280万冊)	○
⑥ 市立図書館 13～19歳の年度利用者数	18.9千人	19.0千人(※) (22.0千人)	△
⑦ 「ティーンズのページ」アクセス数	6.3千件	6.6千件 (10.0千件以上)	△
⑧ 市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	5.2万冊	11.8万冊 (6.0万冊以上)	○
⑨ 読書活動支援ボランティア数	2.4千人	2.5千人 (2.5千人以上)	○
⑩ 「子どもの読書活動推進連絡会(全市、区)」	全市、各区年1回以上開催 (同・年1回以上開催)		○

未達成の課題

- ◎「全国学力・学習状況調査」における
 - ・「読書が好き」と答える児童・生徒の割合
 - ・学校図書館・室や地域の図書館を利用しない児童・生徒の割合
- ◎ティーンズ世代の市立図書館利用
 - ・年度利用者数
 - ・市立図書館ホームページ「ティーンズのページ」アクセス数

分析

- ・学校図書館補助員の配置によって開館回数を増やし環境整備を進めたことにより、「読書が好き」と回答する児童生徒の割合は増えたが、全国平均の数値も改善したため、全国平均との差は残っている。
- ・中学生の指標数値の改善はゆるやかで、学校段階が進むにつれて読書離れが進む、という全国的な傾向と同様の状況が見られる。
- ・学校図書館の環境整備が進んでおり、学校図書館を活用した教育の一層の推進が求められる。
- ・中高校生が課題等で活用できるブックリストの掲載等、市立図書館による、ティーンズ世代のニーズに、より即した情報提供が求められる。

対応

- ・魅力ある学校図書館づくりを進め、学校図書館を活用した教育を推進
- ・中高校生がよく利用している情報提供サービスから「ティーンズのページ」等への誘導を行うなど、SNSを活用した情報発信

(※) 平成26年1月から実施のカード統合(1人1枚)を考慮した補正值

第3次計画（平成30年度～32年度）の概要

すべての子どもが生き生きと読書を楽しめるよう、
家庭、地域、学校が連携して取り組みます

基本方針1. 子どもの読書環境の整備・充実	
家庭・地域での読書活動推進	
乳幼児健診時の読み聞かせ実施、図書館との連携・協力	
学校での読書活動推進	
学校図書館の環境整備	
学校図書館を活用した教育の推進：読書に親しむ児童生徒の育成 児童生徒の情報活用能力の向上	
市立図書館での読書活動推進	
児童書の充実、乳幼児向け催しの実施	
中高生を中心とした若年層への働きかけ	
市立図書館 Wi-Fi 環境の利用促進	
地域資料・地域の情報の収集・発信	
幼稚園・保育所・子育て支援施設、学校との連携・支援強化	

基本方針2. 子どもの読書活動に関する普及・啓発	
「子ども読書の日記念事業」など読書普及・啓発事業の実施	
SNS を使った情報発信の拡大	

基本方針3. 人と本、人と人をつなぐ場の拡大	
区役所など地域の関係諸機関・団体の連携協力	
「子どもの読書活動推進連絡会」の継続実施	

最重要目標	現状	目標値
①「全国学力・学習状況調査」 読書を「全くしない」児童・生徒の割合【新】	(小)26.8%、(中) 50.0%【H29.8】	全国平均
②「全国学力・学習状況調査」 「読書は好きだ」と答える児童・生徒の割合	(小)69.5%、(中) 59.1%【H29.8】	全国平均

※最重要目標は大阪市教育振興基本計画と整合させた設定

取組目標・指標	現状	目標値
③子育て支援施設の読み聞かせ実施施設数割合	100%	100%
④学校図書館週当たり開館回数 (小学校：週20回、中学校：週15回中)	(小)7.6回 (中)7.2回	(小)8回以上 (中)8回以上
⑤小中学校の大阪市図書標準達成【新】	100%	100%
⑥小中学校での一斉読書実施率【新】	(小)88.3%、(中) 78.9%【H29.5】	(小)100%、 (中)100%
⑦「全国学力・学習状況調査」学校図書館や地 域図書館を利用しない児童・生徒の割合	(小)45.7%、(中) 72.1%【H29.8】	全国平均
⑧市立図書館 児童書の貸出冊数	312万冊	315万冊
⑨「としょかんポイント」15歳以下参加者【新】	4.6千人	10.0千人
⑩市立図書館 13歳～19歳の登録者数	3.7万人	3.9万人
⑪「ティーンズのページ」アクセス数	6.6千件	7千件
⑫調べかたリーフレットの作成【新】	—	全校配布
⑬子育て支援施設等への配本【新】	380回	430回
⑭学校との連携事業回数【新】	4,481回	4,600回
⑮市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	11.8万冊	13万冊
⑯市立図書館の SNS での情報発信件数【新】	1,102回	1,200回
⑰市立図書館ホームページアクセス数【新】	778万件	800万件
⑱読書活動支援ボランティア数	2,565人	2,500人維持
⑲市立図書館と区役所等との連携事業回数【新】	1,914回	2,000回
⑳「子どもの読書活動推進連絡会（全市、区）」	年1回以上	年1回以上

【資料1-1】大阪市子ども読書活動推進計画の実施状況

第2次計画期間(2013-2017)

第3次計画期間(2018-2020)

取組目標・指標	実績値(28年度)	実績値(29年度)	実績値(30年度)	目標値(32年度)
①「全国学力・学習状況調査」 読書を「全くしない」児童・生徒の割合【新】	(小) 26.8% (中) 50.0% 【H29.8】	(小) 26.3% (中) 47.2% 【H30.7】	(小) 25.7% (中) 48.0% 【R1.7】	全国平均 (参考R1) (小) 18.7% (中) 34.8%
②「全国学力・学習状況調査」 「読書は好きだ」と答える児童・生徒の割合	(小) 69.5% (中) 59.1% 【H29.8】	(調査項目なし)	(小) 71.2% (中) 58.7% 【R1.7】	全国平均 (参考R1) (小) 75.0% (中) 68.0%
③子育て支援施設の読み聞かせ実施施設数割合	100%	100%	100%	100%
④学校図書館週当たり開館回数 (小学校：週20回、中学校：週15回中)	(小) 7.6回 (中) 7.2回	8.4回 7.9回	8.6回 8.1回	(小) 8回以上 (中) 8回以上
⑤小中学校の大阪市図書標準達成【新】	100%	100%	100%	100%
⑥小中学校での一斉読書実施率【新】	(小) 88.3% (中) 78.9% 【H29.5】	(小) 88.0% (中) 78.9% 【H30.5】	(小) 83.8% (中) 83.6% 【R1.5】	(小) 100%、 (中) 100%
⑦「全国学力・学習状況調査」学校図書館や地域図書館を利用しない児童・生徒の割合	(小) 45.7% (中) 72.1% 【H29.8】	(調査項目なし)	(小) 43.8% (中) 67.6% 【R1.7】	全国平均 (参考R1) (小) 29.9% (中) 55.3%
⑧市立図書館 児童書の貸出冊数	312万冊	315万冊	317万冊	315万冊
⑨「としょかんポイント」15歳以下参加者【新】	4.6千人	4,012人	3,858人	10.0千人
⑩市立図書館13歳～19歳の登録者数	3.7万人	35,400人	32,400人	3.9万人
⑪「ティーンズのページ」アクセス数	6.6千件	9,870件	11,824件	7千件
⑫調べかたリーフレットの作成【新】	—	全24区で作成	ホームページ掲載、学校周知・配布	全校配布
⑬子育て支援施設等への配本【新】	380回	396回	411回	430回
⑭学校との連携事業回数【新】	4,481回	4,615回	4,639回	4,600回
⑮市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	11.8万冊	11.7万冊	10.9万冊	13万冊
⑯市立図書館のSNSでの情報発信件数【新】	1,102回	1,423回	2,233回	1,200回
⑰市立図書館ホームページアクセス数【新】	778万件	866万件	1,105万件	800万件
⑱読書活動支援ボランティア数	2,565人	2,510人	2,583人	2,500人維持
⑲市立図書館と区役所等との連携事業回数【新】	1,914回	2,272回	2,471回	2,000回
⑳「子どもの読書活動推進連絡会(全市、区)」	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上

具体的取組>取組内容	スケジュール			主な担当	H30年度実施状況	
	H30年度	R1年度	R2年度		評価	内容
1.子どもの読書環境の整備・充実						
1 (1) 家庭・地域を中心とした読書活動の推進						
1 (1) ① 子育て支援施設でのブックスタート事業の実施						
1 (1) ①	ブックスタート事業啓発の推進	乳幼児健診時の読み聞かせ		区役所・こども青少年局・市立図書館	○	乳幼児健診時の読み聞かせ実施
1 (1) ①		市立図書館と連携・協力したブックスタート事業の啓発の推進			○	全区でブックスタート事業の啓発実施
1 (1) ①	ブックスタートボランティアへの支援	ブックスタートボランティア講座の実施			○	市立図書館でブックスタート入門講座2回実施
1 (1) ① 子育て支援施設での読書活動の推進						
1 (1) ①	施設での絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	子育て支援施設等での絵本設置、	こども青少年局・市立図書館		○	子育て支援施設での絵本など図書の設置
		読み聞かせ、えほんひろば等市立図書館と連携した取組の実施				
1 (1) ①	施設職員への情報提供				○	各施設への図書館だよりや行事チラシ等配付による情報提供
1 (1) ① 保護者を中心とした大人への啓発						
1 (1) ①	保護者対象の読み聞かせ講座等の実施	プレママ・プレパパ向け、男性向けなどこれまで参加が少なかった層を対象とした絵本の読み聞かせ講座等の実施/乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座等の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館・生涯学習部		○	生涯学習部と市立図書館共催「パパのための絵本読み聞かせ講座」(2月)ほか、乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座実施
1 (1) ①	保護者等を対象とした情報提供					○
1 (1) ① 市立図書館の子育て支援情報コーナーの充実						
1 (1) ①	区役所、幼稚園、保育所、子育て支援施設等の子育てに役立つ情報の提供	市立図書館全館の子育て支援コーナーでの、区の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配布	市立図書館		○	全24館で子育て支援コーナーの継続設置
1 (1) ② 公私立幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設における読書活動の推進						
1 (1) ② 幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設での読書活動推進						
1 (1) ②	絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	各施設での絵本など図書の設置	指導部・こども青少年局・市立図書館		○	保育所などでの絵本など図書の設置
		読み聞かせ、市立図書館の団体利用、えほんひろば等市立図書館と連携した取組の実施				○
1 (1) ②	保護者への情報提供				○	教育委員会事務局による保護者向け読書啓発リーフレットの作成
1 (1) ②	教職員・保育士への情報提供	読書活動推進のための教職員・保育士研修実施			○	市立図書館での司書教諭スキルアップ講習実施。保育・幼児教育センターでの研修実施。
1 (2) 学校における読書活動の推進						
1 (2) 学校図書館の環境整備						
1 (2)	大阪市図書標準の全小中学校での達成	大阪市図書標準の全小中学校での達成	学校・市立図書館		○	大阪市図書標準達成率100%維持
1 (2)	学校図書館補助員・コーディネーター等の配置	学校図書館補助員・コーディネーター等の配置				○
1 (2) 学校図書館を活用した教育の推進						
1 (2)	調べ学習や読書活動推進のための取組み	調べ学習や読書活動推進のための教員研修の実施	学校・指導部・市立図書館		○	司書教諭スキルアップ講習実施
1 (2) 読書に親しむ児童生徒の育成						
1 (2)	読書のきっかけとなる催し等の開催	一斉読書(朝の読書など)、ビブリオバトルなど読書のきっかけとなる催し等の開催	学校		○	一斉読書、ビブリオバトルなどの実施
1 (2) 児童生徒の情報活用能力の向上						
1 (2)	ICTの活用		学校・指導部		○	タブレット端末などの学習への活用
1 (2) 学校図書館支援ボランティアの支援						
1 (2)	ボランティア講座の開催	学校図書館支援ボランティア向けの入門講座、ステップアップ講座等、知識・技術・意欲向上に向けた講座の開催	市立図書館・区役所		○	市立図書館全館での学校図書館ボランティア講座の実施
1 (2)	ボランティア募集に対する支援					○
1 (3) 市立図書館における読書活動の推進						
1 (3) ① 来館者へのサービス						
1 (3) ① 児童書の充実						

具体的取組>取組内容				スケジュール			主な担当	H30年度実施状況	
				H30年度	R1年度	R2年度		評価	内容
1	(3)	①	蔵書の豊富化および魅力ある本棚づくりの推進	児童書の豊富化 図書更新等による魅力ある本棚づくり			市立図書館	○	市立図書館児童書蔵書冊数950,037冊、年間購入冊数29,585冊。調べ学習支援等の児童図書を継続整備
1 (3) ① 乳幼児向けサービス									
1	(3)	①	乳幼児向け催しの実施	全館で乳幼児向け催しを実施			市立図書館	○	全館で実施
1	(3)	①	親子での市立図書館利用を促進	子どもと保護者がともに参加できる催しの実施				○	親子エコ工作教室(中央)、親子でクラシックコンサート(鶴見)ほか。全館で子どもと保護者向けの催しを実施。
1	(3)	①	授乳スペースの紹介や絵本の展示の工夫など乳幼児と保護者が利用しやすい館内づくり	授乳スペースの紹介や絵本の展示の工夫など乳幼児と保護者が利用しやすい館内づくり				○	授乳スペースの案内を全館に掲示 子ども向け図書展示全館で210回実施(189:地域館、21:中央)
1 (3) ① 中高生を中心とした若年層									
1	(3)	①	ヤングコーナーのPR	ホームページ等でのヤングコーナーのPR			市立図書館	○	ホームページのティーンズのページにりんご通信の毎月掲載 「書評漫才」の動画を教育委員会のyoutubeで公開
1	(3)	①	読書や市立図書館に関心が持てるような講座、参加型プログラムの実施	読書や市立図書館に関心が持てるような講座、参加型プログラムの実施				○	第7回書評漫才グランプリ実施 出場者22組、来場者335人
1	(3)	①	市立図書館Wi-Fi環境の利用促進	市立図書館Wi-Fi環境・蔵書検索モバイル版利用促進のチラシ作成	市立図書館Wi-Fi環境・蔵書検索モバイル版利用促進のチラシの配布・周知			○	市立図書館Wi-Fi環境利用促進の周知掲示物作成
1	(3)	①	電子図書館機能の利用促進	市立図書館見学や職場体験等で電子図書館機能活用講座等を実施				○	電子図書館機能活用講座(一般対象)197回、(小中学生対象)93回
1 (3) ① 障がいのある子どもへのサービス									
1	(3)	①	市立図書館の障がい者サービスについての利用促進	市立図書館の障がい者サービス促進に向けた広報物作成	作成した広報物による周知		市立図書館	○	障がい者サービス利用案内の改訂(H30年5月)配布。出前講座:マルチメディアデイズ、障がい者サービスの紹介、西成区(2/26)。
1	(3)	①	支援が必要な子どもや資料に関する啓発	支援が必要な子どもや資料提供の理解を深める講演会等の実施				○	マルチメディアデイズ制作講座、体験会、ユニバーサルおはなし会、LLブックセミナーの実施
1	(3)	①	マルチメディアデイズ資料の提供等ディスレクシアの子どもへの読書支援の推進	マルチメディアデイズ資料の充実と利用促進				○	マルチメディアデイズの提供、制作講座、体験会の実施。「こどものほんだな」点字版・マルチメディアデイズ版作成配布、hp掲載。出前講座:マルチメディアデイズ、障がい者サービスの紹介、西成区(2/26)。
1 (3) ① 外国にルーツを持つ子どもへのサービス									
1	(3)	①	子ども向け外国語資料の充実および利用促進	子ども向け外国語資料の充実			市立図書館	○	外国語の図書、電子書籍を新規受入。7月より「電子書籍by Rakuten OverDrive」による英語児童書の試行開始(R2年5月まで)
1	(3)	①	外国語の絵本等を活用した催しの実施	外国語の絵本等を活用した催しの開催				○	いろんなことばのおはなし会6回、絵本を通じて多文化に出会うイベント等、開催
1	(3)	①	外国にルーツを持つ住民に向けた市立図書館サービス周知	多言語による地域図書館の利用案内作成	多言語による地域図書館の利用案内の配布・周知			○	外国語の利用案内の作成(全館分)
1 (3) ① 地域資料・地域の情報の収集・発信									
1	(3)	①	大阪の歴史や文化を調べるのに役立つブックリストの作成・配布、ホームページ公開	各区「調べかたリーフレット」の活用に向けた周知	テーマ別「調べかたリーフレット」の作成	テーマ別「調べかたリーフレット」の活用に向けた周知	市立図書館	○	「子ども版しらべかたガイド:各区版」を各館での作成・ホームページ公開
1 (3) ① ICTの活用									
1	(3)	①	「としょかんポイントプログラム」の開催	「としょかんポイントプログラム」の実施			市立図書館	○	「としょかんポイントプログラム」の実施 参加者数6904人
1	(3)	①	商用データベースや電子書籍など子どもが利用できる電子図書館機能の活用推進	市立図書館ホームページや商用データベース、電子書籍等を活用したクイズ等による電子図書館機能の活用推進				○	としょかんポイントクイズの実施 3回実施
1	(3)	①	電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進	電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進				○	「電子書籍by Rakuten OverDriveで英語に親しむ(7/22)」の実施
1 (3) ② 図書館外へのサービス(アウトリーチサービス)									
1 (3) ② 自動車文庫の運行、読書普及									
1	(3)	②	自動車文庫の運行、利用促進に向けた広報活動	区役所や他部局のイベント参加による広報			市立図書館	○	友渚小学校へ自動車文庫見学のための訪問(11/29)府立光陽支援学校に臨時巡回(11/29)
1	(3)	②		市立図書館ホームページでの情報発信の拡大				○	ツイッターによる発信

具体的取組>取組内容			スケジュール			主な担当	H30年度実施状況			
			H30年度	R1年度	R2年度		評価	内容		
1	(3)	②	ステーションでのおたのしみ会等読書普及活動の実施	自動車文庫「とよかんポイント」・巡回ステーションでのおたのしみ会の実施など利用促進に向けた取り組み			○	えほんのじかん(2回)、子ども図書館員ぼしゅう(2回)、バスフェスタ、スタンブラリー実施		
1	(3)	②	幼稚園・保育所・子育て支援施設等との連携・支援							
1	(3)	②	市立図書館から幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数の増	モデル施設での年2回配本の実施	年2回配本する施設の拡大	市立図書館	○	モデル施設での2回配本実施		
1	(3)	②	幼稚園・保育所・子育て支援施設等での絵本の読み聞かせなどへの読書活動支援図書ボランティア派遣	絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティアの派遣			市立図書館	○	282施設1,720回派遣	
1	(3)	②	学校との連携・支援							
1	(3)	②		市立図書館資料を活用した調べ学習事例の作成			市立図書館・学校	○	団体貸出事例の調査実施	
1	(3)	②	団体貸出の利用促進と活用事例の蓄積・周知	小・中学校が利用できる調べ学習用蔵書の活用促進				○	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	
1	(3)	②		小・中学校に対し学校送達を利用した団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援の周知				○	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	
1	(3)	②	学校図書館の運営面への支援	小・中学校の学校図書館の選書支援				○	選書リストの作成	
1	(3)	②	読書活動支援ボランティアとの連携・協力							
1	(3)	②	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施			市立図書館・読書活動支援ボランティア	○	講座の実施(連続講座ほか3回)	
1	(3)	②	ボランティアステップアップ講座の実施	読み聞かせプログラムの立案方法や絵本の選び方等ボランティアステップアップ講座の実施				○	講座の実施(3回)	
1	(3)	②	すべての区で交流会や情報交換会を実施	全区のボランティアを対象とした情報交換会を実施				○	情報交換会の実施	
2. 子どもの読書環境の整備・充実										
2(1) 普及・啓発事業										
2(1) 子ども読書の日事業										
2	(1)		市立図書館に親しみ、本を読む楽しさにふれられるイベント等の実施	市立図書館全館で子ども読書の日記念事業の実施			市立図書館	○	市立図書館全館での実施(4月下旬から5月上旬)総参加者数1,320人	
2(1) 大阪市図書館フェスティバル										
2	(1)		本と人、人と人との”出会いの場”を創り出し、図書館の魅力や読書の楽しさを伝える催しの開催	市立図書館全館で大阪市図書館フェスティバルの実施			市立図書館	○	市立図書館全館での実施(10/13-11/25)総参加者数7,819人	
2(1) One Book One OSAKA										
2	(1)		読書活動支援ボランティアを中心として市立図書館、大阪府立中央図書館との協働による「One Book One OSAKA」の実施	第6回One Bookの発表	第7回One Bookの投票	第7回One Bookの発表	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	○	第6回One Bookの発表	
2	(1)			One Book One OSAKA関連イベント等読書普及活動				○	各図書館や連携先での関連イベントの実施	
2(1) こどものほんだな										
2	(1)		こどものほんだなの作成・配布	こどものほんだなの作成・配布			市立図書館	○	作成、配布 データセットを公開	
2(2) 効果的な広報										
2(2) 紙媒体による広報活動										
2	(2)			各区広報紙への情報掲載			市立図書館・生涯学習部・区役所	○	各区広報紙への情報掲載	
2	(2)		広報紙・誌等への市立図書館催し等情報掲載	「子どものためのイベントガイド『タッチ』」の発行、市内全小学生への配付				○	7月と3月の年2回作成、配布	
2	(2)			大阪市生涯学習情報誌「いちよう並木」への市立図書館の情報掲載				○	毎号掲載	
2(2) ホームページを活用した広報活動										
2	(2)		市立図書館ホームページ内容の豊富化	ホームページ「こどものページ」・「子どもにすすめる本」ページ・「ティーンズのページ」の内容豊富化			市立図書館	○	「こどものページ」の内容充実 「こどものページ」トップページに各館のページにある「子ども版しらべかたガイド:各区版」に導く「しらべてみよう!」の項目を新設	
2	(2)		いちようネットでの情報発信の拡充	いちようネットでの情報発信の拡充				○	子ども向け行事などの情報発信	
2	(2)		各種図書リストを市立図書館ホームページで公開	展示リスト等各種図書リストを市立図書館ホームページで公開				○	展示リスト等の公開	
2(2) SNSを使った情報発信の拡大										
2	(2)		ツイッター・Facebook等SNSを使った情報発信の活用	Facebookでの広報追加内容の検討	ツイッター・Facebook等SNSを使った情報発信の拡充			市立図書館	○	追加内容の検討

具体的取組＞取組内容	スケジュール			主な担当	H30年度実施状況	
	H30年度	R1年度	R2年度		評価	内容
3. 人と本、人と人をつなぐ場の拡大						
3(1) 区役所や地域施設を書くとした家庭・地域・市立図書館の連携協力						
3(1) 子育て支援施設でのブックスタート事業の実施						
3(1)	実施施設と市立図書館の連携・協力	区役所や子育て支援施設・市立図書館の協力によるブックスタートの実施		区役所・子ども青少年局・市立図書館	○	ブックスタートの実施
3(1) 区役所・子育て支援施設・市立図書館の連携・協力						
3(1)	子どもの読書や施設の読書活動に関する情報提供	情報紙などによる読書普及行事等の情報提供			○	読書普及行事等の情報提供
3(1)	子育て支援事業等、区における子どもの読書活動の取組みでの連携・協力	えほんひろばの開催など、区役所や地域施設、市立図書館の協力による読書普及活動の実施		区役所・子ども青少年局・市立図書館	○	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施
3(1)	市立図書館と連携・協力した読書普及・啓発活動の実施	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置			○	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置
3(1) 生涯学習関係事業での連携・協力						
3(1)		市立図書館から生涯学習施設、地域施設等への支援情報の周知			○	施設連絡会等での支援情報周知
3(1)	生涯学習施設での読書活動支援の実施	支援事例のSNS等による発信の促進・市立図書館間の情報共有		生涯学習部・市立図書館	○	ツイッターでの連携事業周知、市立図書館間での連携事例の情報共有
3(1)		市立図書館と地域施設との連携・協力の取組み実施			○	市民学習センター等でのNW型市民セミナー「図書館120%活用術」など全10回講座他、連携・協力の実施
3(1)	市立図書館と連携・協力した生涯学習事業の実施	市立図書館と生涯学習施設、地域の企業・団体との連携の実施			○	生涯学習部との共催講座4回他、地域の企業・団体との連携の実施
3(2) 学校を核とした家庭・地域・市立図書館の連携協力						
3(2) 小学校区のはぐくみネット事業、中学校区の元気アップ地域本部事業における読書活動の支援						
3(2)	ボランティアに対する支援	小学校区のはぐくみネット事業、中学校区の元気アップ地域本部事業での読書活動の支援			○	ボランティアへの情報提供、活動支援。学校図書館ボランティア講座の実施、学校図書館の整備支援
3(2)		図書ボランティア講座の実施		学校・区役所・生涯学習部・市立図書館	○	学校図書館ボランティア講座の実施
3(2)		学校図書館を活用した読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化			○	ボランティアによるおはなし会等読書活動の実施 学校図書館実践交流会の実施
3(2) 児童いきいき放課後事業における連携・協力						
3(2)	児童いきいき放課後事業における読書活動への支援での連携・協力			学校・子ども青少年局・区役所・市立図書館	○	中央図書館から、図書購入にかかる参考図書リストの提供。学校図書館の活用の推進(利用率:H30…93%)
3(3) 地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成						
3(3) 子どもの読書を支える施設・団体のネットワークづくり						
3(3)	子どもの読書活動推進連絡会の実施	子どもの読書活動推進連絡会の実施(各区・全市年1回以上)		市立図書館・生涯学習部・子ども青少年局・区役所等	○	全区で実施。全市連絡会は、報告書送付により実施。

夏
2019
令和元年度

イベント+施設ガイド



大阪市

タツ子

7/10 ▶ 8/31

タツ子の情報の探し方

ジャンルで探す

イベント情報は内容によってジャンル別目次をつけてね。

- 自然・科学にタッチ 2・3・4
- くらし・環境・スポーツにタッチ 5・6
- 歴史・文化にタッチ 6
- 絵画・工作・音楽にタッチ 6・7・8
- 映画・舞台・コンサートにタッチ 9
- その他イベントにタッチ 10・11
- キッズプラザ大阪のイベント 12・13
- 図書館のイベント 14・15
- お問い合わせ・申込み先一覧 16・17
- 施設一覧 18

場所を探す

16・17ページの「お問い合わせ・申込み先一覧」で、各施設・部署ごとの「掲載イベント番号」をみてね。

カテゴリー内マークの説明

🕒 日時 📍 会場 🏠 ホームページ 📧 メール 📄 料金 📄 定員 📄 申込 📄 切込 📄 交通 📄 対象

🌐 インターネット (https://www.manabi.city.osaka.lg.jp) (いちようネット)
事業の名称、開催日時等は主催者の都合により変更になることがあります。 1

◆ 図書館のイベント

中央図書館 📞 6539-3301 📍 6539-3335
Osaka Metro [西成線]

まじも娘女のわくわく絵本塾「夏のおフェット作り」

🕒 8/6(火) 14:00 ~ 15:30
大阪市立中央図書館 5階会議室
📄 400円(材料費) 📄 小学生
📄 先着40人 📄 電話か来館にて
7/16(水)9:15から申込受付開始

北図書館 📞 6375-0410 📍 6371-3177
Osaka Metro [天神橋筋大町]・シテイバス[天神橋大町]

わくわく絵本キッズスタイルブックおはほんであそぼ!

🕒 7/20(土) 11:00 ~ 11:45
大阪市立北図書館 2階読書室
📄 無料 📄 小学生と保護者 📄 当日先着50人

都島図書館 📞 6354-3229 📍 6354-7822
JR [大阪城北詰]・シテイバス[都島区役所前]
京阪-JR-Osaka Metro [京橋]

夏のことば会 どうぐづくりの形紙とラブリージアター

🕒 8/17(土) 15:00 ~ 16:00
大阪市立都島区民センター 会議室4
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着30人

福島図書館 📞 6468-2336 📍 6468-5191
Osaka Metro [野田阪神]・シテイバス[福島区役所前]

ま〜ま〜るのひつくりばこ

🕒 7/23(火) 14:00 ~ 15:00
大阪市立福島区民センター 会議室
📄 無料 📄 幼児から 📄 当日先着50人

此花図書館 📞 6463-3463 📍 6463-9688
阪神・シテイバス[千鳥橋]

夏休み工作教室「探トチップスの箱で小物入れを作ろう!」

🕒 7/30(火) 15:00 ~ 16:00
大阪市立此花区民一休ホール 第1会議室
📄 無料 📄 どなたでも(幼児は保護者同伴)
📄 先着15人 📄 電話か来館にて 📄 定員に達次第
7/10(水)10:00から申込受付開始

島之内図書館 📞 6211-3645 📍 6212-5449
Osaka Metro [長原橋]

おたのしみ会

🕒 7/17(水)・24(水)・31(水)・8/7(水)・14(水)・21(水) 15:30 ~ 16:00
大阪市立島之内図書館 多目的室
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着30人

港町図書館 📞 6576-2346 📍 6571-7915
JR-Osaka Metro [弁天町]・シテイバス[港区民センター]

夏のことば会

🕒 7/20(土) 10:30 ~ 11:30
ゆめホーム[ゆめかなえる英区民センター 2階 橋(部屋)]
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着40人

大正図書館 📞 6552-1116 📍 6551-9362
シテイバス[大正区役所前]

夏休み月ようおはなし会

🕒 7/22(月)・29(月)・8/5(月)・19(月) 16:00 ~ 16:30
大阪市立大正図書館 おはなしの部屋
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着20人

天王寺図書館 📞 6771-2840 📍 6771-3801
Osaka Metro [谷町1丁目]・近鉄[大阪上本町]
シテイバス[上本町八丁目]

ほちほちのおはなし会

🕒 7/20(土) 15:00 ~ 15:30
大阪市立天王寺図書館 2階おはなしのへや
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着25人

浪速図書館 📞 6632-4946 📍 6632-4973
Osaka Metro [大田町]

リサイクル工作教室「作ってあそんで 人形劇!」

🕒 7/31(水) 14:00 ~ 16:00
大阪市立浪速図書館 会議室
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 先着20人
📄 電話か来館にて 📄 定員に達次第

西淀川図書館 📞 6474-7900 📍 6477-0463
JR [御幣島]・シテイバス[御幣島駅]

夏の子ども会

🕒 7/31(水) 15:00 ~ 15:45
大阪市立西淀川図書館 多目的室
📄 無料 📄 どなたでも 📄 当日先着50人

淀川図書館 📞 6305-2346 📍 6305-9129
阪急・シテイバス[十三]

おたのしみ会イベント!

🕒 8/24(土) 15:00 ~ 16:00
大阪市立淀川図書館 2階集客室
📄 無料 📄 どなたでも 📄 当日先着50人

東淀川図書館 📞 6323-5476 📍 6323-1738
阪急・JR [淡路]・シテイバス[東淡路1丁目]

おたのしみ会「いびよびよん」イベント

🕒 8/3(土) 14:00 ~ 15:00
大阪市立東淀川図書館
📄 無料 📄 小学生、幼児と保護者 📄 当日先着30人

東成図書館 📞 6972-0727 📍 6972-0278
Osaka Metro [今里]・シテイバス[地下鉄今里]

おはなし会「ねむりの絵巻をライブ」

🕒 7/27(土) 11:00 ~ 11:30
大阪市立東成図書館 多目的室
📄 無料 📄 どなたでも 📄 当日先着50人

生野図書館 📞 6717-2381 📍 6717-3119
いぼざとライナー・シテイバス[大池橋]

かみしばいがはじまるよ!

🕒 7/23(火) 14:00 ~ 15:00
大阪市立生野図書館 会議室
📄 無料 📄 どなたでも 📄 当日先着50人

旭図書館 📞 6955-0307 📍 6955-0287
Osaka Metro [千林大宮]・関目橋筋 [京阪森小橋]
シテイバス[旭区役所]・区民センター[森小橋]

夏のおはなし会

🕒 7/20(土) 14:00 ~ 14:40
大阪市立旭図書館 多目的室
📄 無料 📄 どなたでも 📄 当日先着100人

学校のことや友だちのことで悩みがある人は相談してね!		月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
電話教育相談 ことも専用	TEL 4301-3140 FAX 6944-2064	
子ども相談 センター	TEL 4301-3141 FAX 6944-2064	月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
メール 教育相談	24時間対応 不登校やいじめなどの悩みについて、パソコンなどから電子メールでの相談をお受けしています。本服種、子ども専用科目ページから、1メール教育相談のダイヤルをクリックして入力できます。	相談の返答は5日程度(土日・祝日・年末年始を除く)かかります。
24時間子どもSOSダイヤル	TEL 0120-0-78310 <small>なやみいぼう</small>	年中無休 24時間対応 ※一部の電話からはつながりませんで、電話教育相談にかけてください。

子育て 家庭を応援する

親カアツプサイト

親カアツプサイトには、子育てに役立つ情報がたくさん載っています!

親カアツプサイト <https://www.city.osaka.lg.jp/kyokku/page/0000121316.html>

お問い合わせ: 大阪市教育委員会事務局生涯学習担当 TEL 06-6539-3346 FAX 06-6532-8520

【広告】

食の安全について考えてみませんか!

公益財団法人
大阪市学校給食協会は、
昭和16年(1941年)に
国民学校給食組合として
発足しました。
これからも、
安全・安心な食材で
笑顔と元気を
お届けして参ります。

<http://www.osaka-school-lunch.or.jp/>

タツチ

大阪府教育委員会 生涯学習担当
〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 市立中央図書館4階 TEL 6539-3345 FAX 6532-8520

大阪府立総合生涯学習センター (指定管理者: 大阪教育文化振興財団・SFS 共同事業体)
〒530-0001 大阪市北区御田1-2-2-500 TEL 6345-5020 FAX 6345-5019

発行人 大阪府教育委員会 令和元年7月10日

- 住吉図書館** TEL 6606-4946 FAX 6606-6987
【南海】沢ノ町
- どんぐり工作教室**
⑧ 8/4(日) 14:00～15:30
⑨ 大阪市立住吉図書館 多目的室
⑩ 無料 小学生以上 ⑪ 先着25人 ⑫ 来館にて
⑬ 定員に達し次第 7/21(日)10:00から申込受付開始
- 東住吉図書館** TEL 6699-7000 FAX 6699-3222
【Osaka Metro】胸川中野
- おはなは会**
⑧ 7/20(土)・27(土)・8/3(土)・10(土)・17(土) 14:00～14:30
8/1(木) 16:00～16:30
⑨ 大阪市立東住吉図書館 えほんコーナー
⑩ 無料 ⑪ どなたでも ⑫ 当日先着30人
- 平野図書館** TEL 6793-0881 FAX 6791-5038
【近鉄】平野駅前一丁目【平野公園前】(平野)・加美
- えほん屋ーとしよかのえほんがクラブパークにやってくるー**
⑧ 7/26(金) 10:30～14:30
⑨ 大阪市立クラブパーク
⑩ 無料 ⑪ どなたでも ⑫ なし
- 西成図書館** TEL 6659-2346 FAX 6659-8599
【Osaka Metro】岸里
- おたのしみ会 夏休み特別版**
⑧ 7/23(火) 11:00～11:45
⑨ 大阪市立西成区民センター 会議室2-3
⑩ 無料 ⑪ 小学生・幼児と保護者 ⑫ 当日先着30人
- 城東図書館** TEL 6933-0350 FAX 6933-0351
【Osaka Metro】湊生四丁目
- 夏の子ども会 どんぐりの人形けしとラブリー・メジャー**
⑧ 8/18(日) 14:00～15:00
⑨ 大阪市立城東図書館 多目的室
⑩ 無料 ⑪ どなたでも ⑫ 当日先着60人
- 鶴見図書館** TEL 6913-0772 FAX 6913-3975
【Osaka Metro】鶴見】テアバス【地下鉄鶴見】
- みんなでのおはなは会(生涯学習センター)小学生のためのこーいおはなは会!**
⑧ 7/27(土) 14:00～14:40
⑨ 大阪市立鶴見図書館 多目的室
⑩ 無料 ⑪ おおむね小学生以上(大人だけでも参加できます)
⑫ 当日先着50人
- 阿倍野図書館** TEL 6656-1009 FAX 6656-1043
【Osaka Metro】阿倍野】
- リサイクル工作教室**
⑧ 8/6(火) 14:00～16:00
⑨ 大阪市立阿倍野図書館 多目的室
⑩ 無料 小学生(1～2年生は保護者同伴で参加します)
⑪ 先着20人 ⑫ 電話か受領にて ⑬ 8/5(月)
7/17(火)10:00から申込受付開始
- 住之江図書館** TEL 6683-2788 FAX 6683-8840
【Osaka Metro】住之江立川】テアバス【南船場四丁目】
- あんころもちの人形けし!**
⑧ 8/4(日) 14:00～14:45
⑨ 大阪市立住之江会館 大会議室
⑩ 無料 ⑪ 小学生・幼児と保護者 ⑫ 当日先着80人

ワンブックワンオオサカ One Book One OSAKA

みんなであそぶ 大阪市の1ぎつのえほん

ワンブックワンオオサカ One Book One OSAKA
みんなであそぶ 大阪市の1ぎつのえほん

みなさんの投票まっます!

大阪府立図書館などに置いてある投票箱に入れるか、図書館のホームページからも投票できます。

他にもセレクション大阪の試合(ヤンマースタジアム長居)や大阪エヴェッサ主催試合(府民共済 SUPERアリーナ他)にも投票コーナーを設置予定です。

文紙 MESSÉ2019 「文鳥ワンダーランド Vol.10 (8月6日(火)、7日(水)マイドームおおさか)」でも投票できます。

お気に入りの絵本の好きなところや、絵本に出会ったきっかけなど、みなさんのお気に入りの1冊のことを教えてください。

【資料3】

「学校図書館活用推進事業」について

蔵書の充実や開館回数を増やすなど、魅力ある学校図書館づくりを行うことで、児童生徒の読書活動を推進し、読書意欲の醸成を一層図る「学校図書館活用推進事業」を平成27年度より実施している。事務局機能は、平成27年度に新設した中央図書館地域サービス担当学校図書館支援グループが担い、教育委員会事務局指導部ほか関係部署間での総合調整機能を担う「学校図書館活用推進プロジェクトチーム」において、事業の進捗管理を行っている。さらに、区役所と連携し、補助員配置計画の策定やボランティア募集などを進めている。

30年度の主な取組み

●学校図書館補助員の配置

学校図書館補助員（非常勤嘱託職員・156人）を市立小中学校全校に配置した。一人の補助員が2～4校を担当し、各校で週1日（6時間）、学校図書館の開館や図書館の環境整備等に従事している。また、補助員業務を支援する学校図書館補助員コーディネーター（非常勤嘱託職員・24人）を各市立図書館に配置している。

前年度に続き、各校で課業日は毎日開館し、週当たり開館回数7回以上という目標を維持し、達成校数は小学校95.8%、中学校98.4%であった。平均開館回数は小学校で8.6回（29年度は8.4回）、中学校で8.1回（同7.9回）であった。

●学校図書館支援ボランティアへの支援

小学校の学校図書館支援ボランティア、中学校での学校元気アップボランティアの協力を得て、地域協働による学校図書館活性化を進めている。30年度のボランティア総数はのべ3,275人を数えている。各市立図書館でのボランティア講座の実施、学校図書館実践交流会の開催など、継続して支援を行っている。

●その他

- ・学校図書館補助員全体研修会 平成30年4月25・26日、8月23・24日、平成31年1月9・10日
補助員のスキルアップを図るため、「学校図書館補助員全体研修会」を3回実施した。
- ・司書教諭スキルアップ講習 平成30年7月31日
池内祥見氏（大阪大学助教、ビブリオバトル普及委員）を講師として、体験をまじえた講義「ビブリオバトル（書評合戦）をやってみよう」と、学校図書館の運営実務に直接役立つ内容の「学校図書館お役立ち講座」を行った。
- ・学校図書館の蔵書構成の充実に向けた取組み 平成30年10月から12月
指導部と学校経営管理センター、中央図書館の連携のもと、「学校図書館の蔵書構成の充実に向けた取組み」を行い、学校図書館補助員コーディネーターによる分野別蔵書比率の分析と、改善計画案（選書リスト）を提示し、学校からの申請に応じて充実が必要な分野の図書を整備するために必要な図書購入予算を措置した。
- ・学校図書館活用推進事業事例報告会 平成31年1月9・10日
「環境整備から活用推進へ」をテーマに加美東小学校での事例を校長から紹介するとともに、学校図書館を校内でどう位置付け、児童生徒や教職員にいかに関与させていくかについて課題共有した。

	主催事業(実施件数) (子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバル含まず)			区役所等主催行事への協力・参加(実施件数)				子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)			幼児期読書環境整備事業						
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	乳幼児向けおたのしみ会	その他(人形劇、工作教室など)	乳幼児健診時の読み聞かせ	区役所等主催のイベントでの読み聞かせ	絵本展	その他(講座、催し、図書貸出など)	内容	参加者数	内容	参加者数	配本事業(実施施設数)				ボランティア派遣(実施施設数)			
												幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設
中央図書館(西区)	196	28	11	0	2	4	46	まじよ魔女のわくわくおはなし会 4/30	100	アートで遊ぼう みんなで作ろうよ・ハロウィーン 10/27	60	6	7	0	1	4	2	0	12
								西区人権フェスタ「盲導犬体験-盲導犬「フェリシア」ちゃんとのふれあい！」 11/4	80	多文化にふれるえほんのひとば2018 11/17・18	300								
								みんなでみよう たのしい人形劇!	150	第7回書評漫画グランプリ in Osaka 11/23	355								
								「おはなしのしいでえ! In大阪」フェスティバル 11/10・11	4,300	絵本と鳥の巣の不思議-鳥の巣が教えてくれること- 11/25	200								
								えほんのわちゃくちゃ話 5/12	172	Buzz Bus バスフェスタ! おべんとうバスをつくろう! 11/17	15								
北図書館	38	10	1	0	44	5	3	春のおたのしみ会 4/28	42	知るほどに愛せる北区と大阪 古地図で観る北区 10/28	44	3	10	1	6	4	6	1	1
								どんぐりんの人形劇とラプリーシアター 11/10	67										
都島図書館	51	11	5	0	6	0	9	春だよ! ふあいとのじかん 5/4	15	シフカ・プールカ 大人のためのほっこりおはなし会 11/25	26	1	6	1	3	1	2	0	0
福島図書館	63	12	1	62	26	4	27	ま〜るま〜るのびっくりにこ 4/22	31	絵本のひろば 11/3	65	3	10	1	2	3	9	1	0
此花図書館	33	10	14	36	0	2	9	春のこども会 4/28	15	秋の子ども会 10/27	22	1	5	0	3	1	5	0	3
島之内図書館(中央区)	44	22	0	36	12	3	13	春のこども会 4/1	17	図書館 de ECO「おちばのしおりづくり」 11/18	18	7	5	0	4	3	3	0	1
								語り部シアター 大坂の陣 10/28	13										
								工作教室「いたずらねこをつくろう」 11/3	11										
港図書館	60	11	1	12	32	1	35	春のこども会 4/30	30	秋の朗読会 11/18	23	0	7	0	2	1	6	0	0
								図書館 de ECO「木工教室-なんでも越える車輪とモビール-」 11/11	30										
大正図書館	52	51	0	23	3	0	25	ひまわりの会のおはなし会 4/21	12	図書館 de ECO「古紙で紙バッグをつくろう!」 10/13	6	4	7	3	4	1	6	0	1
								おはなしボランティアアナンシのおはなし会(赤ちゃん向け) 11/11	13										
								おはなしボランティアアナンシのおはなし会(小学生向け) 11/11	19										
								さわる絵本大正ワークショップ「さわる絵本をつくってみよう!」 11/18	12										
天王寺図書館	61	11	1	79	0	0	2	ぼちぼちのおはなし会 4/28	26	ぼちぼちのおはなし会 10/27	30	6	8	1	1	6	3	1	0
浪速図書館	49	12	1	52	18	1	8	おはなしデュオ トクみどり♪の春風ライブ 4/22	22	ぐるーぶぬ! 劇場 10/27	62	2	10	0	2	2	11	0	3
西淀川図書館	57	24	1	108	39	3	25	バタポン春のおはなし会 4/21	22	秋の朗読会 11/17	10	4	10	2	8	3	15	1	4
淀川図書館	37	35	3	60	17	2	21	むかーし昔、あったとき 5/6	55	わらべうたと絵本を楽しもう 11/7	76	3	12	1	6	3	10	0	3
								朗読会「耳から広がる本の世界」 11/24	24										
東淀川図書館	37	26	8	0	0	10	7	「とことこ」のかみしばいの時間 拡大版 4/21	48	いろいろなことばのおはなし会	7	2	9	1	8	0	8	0	0
								いたずらネコをつくろう! 11/18	24										
								電子図書館 de 文楽再発見 11/23	12										
東成図書館	77	11	14	0	0	2	19	おはなしびっくりにこ 4/22	24	秋のお楽しみ会 あんころもちの楽しい人形劇 10/21	39	7	7	0	2	5	9	0	1
								大人が楽しむおはなし会 11/8	28										
								おとなの朗読サロン 11/11	70										
生野図書館	13	12	4	0	2	2	25	♪赤ずきん+One♪の春のおたのしみ会 4/28	32	秋の子ども会 ぐるーぶぬ! 劇場 10/20	31	3	9	5	3	3	6	0	2
旭図書館	54	0	1	0	23	2	2	どんぐりんのラプリーシアター 4/21	62	「たまゆら」の朗読会 11/10	65	2	6	0	3	2	11	0	0
城東図書館	66	24	9	24	12	0	18	春のおはなし会 4/21	86	おとなの朗読会 10/20	50	2	9	2	7	2	6	0	3
								春の子ども会 4/29	39										
								子どもに届け「夢のたね」マレットファン 10/27	45										
鶴見図書館	41	11	9	0	1	0	26	でんでんむしのおはなし会 4/21	17	秋の子ども会 11/3	54	1	14	0	3	1	6	0	2
								あんなこっ★げきじょう-人形げき はじめのいっぽ- 4/27	54										
								たんぼぼの会 5/5	31										
								くみどりの秋風ライブ 11/18	50										
阿倍野図書館	56	35	0	0	2	1	6	大きなおきなおたのしみ会① 4/21	89	パネルシアターをたのしもう! 11/10	31	1	6	0	2	1	3	0	0
								大きなおきなおたのしみ会② 4/28											
								大きなおきなおたのしみ会③ 5/5											
住之江図書館	50	11	5	64	1	1	22	えほんであそぼ! 4/21	15	みんなでワクワク! キッズシアターかみふうせん 10/20	49	1	8	1	3	1	9	1	3
								おとなの朗読会 10/27	23										
住吉図書館	94	54	23	24	0	1	7	春のおはなし大会 午前の部・午後の部 4/28	63	ねこの人形教室 10/28	28	6	8	0	5	4	7	0	3
								パレットのおはなし会 午前の部・午後の部 11/4	87										
東住吉図書館	89	13	4	0	83	1	17	春のおはなし会・みんなと赤ずきんとドロップとえほん 5/6	20	秋のえほんひろばとおはなし会 10/27	101	0	9	2	5	0	9	0	3
								ステンシル教室 11/25	24										
平野図書館	34	32	13	66	25	1	10	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 4/28	96	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 10/27	18	7	13	0	10	2	10	0	0
								平野の映像鑑賞会 10/28		39									
								郷土史講演会「摂州平野大絵図を読む!」 11/4		51									
西成図書館	53	12	1	12	0	0	8	るんるん絵本のひろば 4/15	12	るんるん絵本のひろば 11/4	23	2	12	0	5	2	11	0	4
合計	1,405	478	130	658	348	46	390		1,320		7,191	74	207	21	98	55	173	5	49

平成30年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(平成31年4月1日現在)

	学校との連携								学校図書館支援ボランティア向け 講座、交流会		ボランティア養成・ステップアップ		区の子どもの読書 活動推進連絡会開 催日	自動車文庫 ステーション数
	団体貸出件 数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習 支援	おはなし会 等読書支援	学校図書館 整備支援 (回数)	体験学習 (人数)	図書館主任 会への参加	回数	参加者 (延人数)	回数	参加者 (延人数)		
中央図書館 (西区)	18	6,577	22	14	55	0	11	0	4	53	80	1450	9月25日 2月1日	1
北図書館	12	2,484	11	29	10	0	8	0	6	84	4	17	3月13日	4
都島図書館	14	3,552	2	24	3	0	2	0	6	53	5	18	3月6日	3
福島図書館	12	2,026	17	16	109	1	7	1	6	14	5	23	2月19日	1
此花図書館	10	2,111	10	11	0	0	7	0	6	30	7	9	3月22日	4
島之内図書館 (中央区)	5	1,870	11	15	60	0	9	0	4	—	3	21	2月26日	1
港図書館	17	4,330	10	40	81	0	15	0	11	101	5	21	3月5日	2
大正図書館	10	2,995	14	28	99	0	10	0	2	1	5	5	3月29日	2
天王寺図書館	15	6,466	12	35	126	0	0	0	4	26	5	5	2月22日	1
浪速図書館	10	2,381	7	12	526	11	4	0	7	608	10	40	3月6日	1
西淀川図書館	21	4,895	12	43	172	0	6	0	3	25	6	16	1月8日	5
淀川図書館	17	6,737	12	33	37	3	9	0	17	1103	22	177	2月15日	10
東淀川図書館	20	4,511	14	62	34	3	32	1	6	41	2	8	3月13日	12
東成図書館	15	2,613	10	23	75	10	12	0	5	8	1	3	3月28日	2
生野図書館	24	7,040	4	38	112	0	10	0	3	129	6	28	3月15日	3
旭図書館	11	3,848	9	29	5	0	8	0	6	10	5	16	11月13日	3
城東図書館	23	11,141	14	17	12	0	12	1	8	52	4	12	2月26日	8
鶴見図書館	10	7,038	20	24	207	23	26	0	10	404	11	134	3月12日	4
阿倍野図書館	11	2,908	8	25	188	0	18	0	13	47	18	146	1月30日	4
住之江図書館	25	5,467	13	24	46	0	13	0	6	57	5	11	2月28日	8
住吉図書館	20	5,953	11	49	221	3	21	0	3	31	4	43	3月12日	8
東住吉図書館	16	6,188	5	33	229	4	15	0	17	267	4	6	2月14日	5
平野図書館	23	5,320	5	57	268	4	18	3	8	92	10	52	1月30日	11
西成図書館	8	1,128	9	14	49	0	7	0	3	23	16	83	2月14日	2
合計	367	109,579	262	695	2,724	62	280	6	164	3,259	243	2,344		105

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)	R1年度状況	各区役所担当部署		
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年		自己評価	実施状況				H30年度	R1年度
北区	読み聞かせ	子育て支援ルーム絵本読み聞かせ	子育て支援ルーム「Kikki(キッキ)」において、「絵本の会北」による絵本の読み聞かせ	26～29年度実施	○		○	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、毎月第2月曜、第4月曜(午前10時30分～11時)に、ボランティア団体「絵本の会北」による絵本読み聞かせを実施し、絵本の普及を図る。	○	○	○	R1年度より、ボランティア団体「絵本の会北」と、区役所庁舎内保育施設が交代で実施している。	福祉課(子育て支援室)		
北区	読み聞かせ	子どもたちと考える平和展	・映像資料の上映 ・パネル展示 ・資料展示(北区遺族会より借用) ・戦争、平和に関する絵本の展示、読み聞かせ(絵本の会北)	29年度実施	○	○	○	戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承していくため、こどもを対象にした取組を行い、平和について考える機会とする。	○	○	○	・映像資料の上映 ・パネル展示 ・戦争、平和に関する絵本の展示、読み聞かせ(絵本の会北) ・漫画家ビッグ錠先生による、戦争に関する紙芝居「風のゴンタ」の実演	政策推進課連携推進担当		
都島区	学図支援	(区広報での学校図書館支援ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	28～29年度実施			○	取組み内容の実施	○	○	○	7月、11月の2回実施	保健福祉課(こども教育)		
福島区	えほんひろば	絵本ひろば(フッピーキッズルーム事業)	年1回開催。500冊以上の絵本や写真集等の展示。また乳幼児向けの絵本棚、机や椅子、自動車、かまくら等のダンボールアート作品の展示や体験もあり。親子でいろいろな本に出会い、お気に入りの場所を見つけ、ゆっくり楽しんでもらう。絵本研究家加藤啓子氏の絵本講座も開催。	28～29年度実施	○		○	・こどももおとなも楽しめる絵本や写真集を500冊以上揃え、様々なダンボールアートが配置された空間で、読んで、遊んで、寛いで、親子でゆっくりゆったり、いろいろなスタイルで絵本に親しむ。 ・絵本講座に参加し、親子で絵本の読み聞かせを楽しんだり、いろいろな絵本に出会い、それぞれの絵本の世界を楽しむ。	○	○	×	事業廃止のため	保健福祉課子育て支援室		
福島区	読み聞かせ	子育て講座2歳児の広場	年9回開催。各回2歳児の親子20組の参加。広場会場に絵本紹介コーナーを設置し、季節や行事の絵本を展示。講座内で支援室保育士が絵本の読み聞かせを実施。	26～29年度実施	○		○	・自分で絵本を見たり、親子で絵本を読んだりして、親子の関わりを楽しみながら絵本に親しむ。 ・親子で絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しむ。	○	○	×	事業廃止のため	保健福祉課子育て支援室		
福島区	読み聞かせ	子育て講座赤ちゃん広場	月1回開催。毎回0歳児の親子が70組～100組参加。広場会場に手作りおもちゃコーナーと共に絵本コーナーを設置し、赤ちゃん向け及びお母さん向け、季節の絵本などを展示する。区内保育所保育園の保育士や図書館司書が絵本の読み聞かせを実施。	25～29年度実施	○		○	・絵本の読み聞かせを聞いたり、展示された絵本を手にとることで、保護者自身が絵本を楽しみ、興味を持つ。 ・区の図書館実施の絵本の広場や、図書館の利用方法を知る。	○	○	○	○	○	○	保健福祉課子育て支援室
福島区	読書マップ	ふくしま子育て支援情報紙フッピーキッズ絵本に出会える場所特集号発行	区内の絵本に出会える場所の取り組みをマップで紹介。図書館や絵本ボランティア、ブックスタート等も紹介。	-	○	○	○	身近で絵本に出会える場所を紹介することで、親子でかけ、絵本に親しむきっかけとなる。	○	○	×	今年度は掲載内容を変更するため	保健福祉課子育て支援室		

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)	R1年度状況	各区役所担当部署	
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年		自己評価	実施状況				H30年度
此花区	えほんひろば	えほんのひろばによっいで!	500冊以上の絵本の展示と読み聞かせ	25～29年度実施	○		○	年齢に関わらず自分で読んだり読んでもらったりして絵本の世界に触れ絵本を楽しむ。	○		○	R1年度は、9月21・22に実施 絵本の展示と読み聞かせに加えスクリーンで絵本を写しマリバの生演奏に合わせて朗読する絵本ライブなどのプログラムも実施予定	保健福祉課(子育て支援グループ)	
此花区	読み聞かせ	このはなポポくらぶ	年に2回、生後10か月までの乳児とその保護者に対して、数冊絵本の読み聞かせ	29年度実施	○		○	母親とのコミュニケーションによる精神的安定と、親子の絆を深めるため。	○		○	同様の内容で実施継続	保健福祉課(保健活動グループ)	
中央区	読書マップ	中央区まちじゅう図書館構想	中央区には多くの「まちライブラリー」やブックカフェ等が点在しており、民間図書館の取組みをマップにより紹介し、区民が本に親しみ、人と出会い交流する場を拡げていく。	28～29年度実施	○	○	○	①「中央区まちじゅう図書館マップ」作成(H28年度) ②参加施設の交流会開催(H28・29年度) ③「中央区まちじゅう図書館マップ」掲載情報更新(H30年3月)広報・配布(H30年度～)	○		○	継続実施 情報更新した「中央区まちじゅう図書館マップ」の広報・配布	市民協働課(市民活動支援)	
西区	読み聞かせ他	多様な活動主体のネットワークづくり事業『えほんpicnic』	えほんpicnic実行委員会と共に、地域資源となる韮公園を活用し、「都心の中で自然とふれあう」「人とふれあう」ためのきっかけづくりを目的に、絵本の貸出や読み聞かせ、ワークショップ、マルシェ出店などを実施	25～29年度実施	○	○	○	イベントを実施することで、西区の魅力向上につながると感じる参加者の割合:80%以上	△		○	×	次回より、実行委員会が主催で区役所は「後援」として実施を予定	きずなづくり課
西区	えほんひろば	食育なつまつり	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置。「たべものシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施。	26～29年度実施	○	○	○	健全な食生活を確立するため、乳幼児や小学生とその保護者を対象とした取組を行い、西区における食育の推進・普及啓発をする	○		○	○		保健福祉課
港区	えほんひろば	絵本による読書活動促進スタートアップ事業(絵本ひろば)	絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターの講師謝礼等を区役所が負担し、学校や地域の団体等が区内の公共施設等で「絵本ひろば」を開催できるように支援し、子どもの主体的な読書活動を促進	25～29年度実施	○	○	○	学校で絵本ひろばを開催し、子どもの主体的な読書活動を促進	○		○	△	絵本による読書活動促進スタートアップ事業は7年目を迎えることから、今年度より事業変更し、「地域の強みを活かした教育力向上事業」の小中学校が選択できるメニューの一つとして実施する。	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
港区	学図支援	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報紙、ホームページやチラシの配架により、学校図書館支援ボランティアを募集	26～29年度実施			○	区広報での学校図書館ボランティア募集	○		○	○	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
大正区	えほんひろば	子育て応援フェア	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク連絡会により開催。子育てコンシェルジュによる子育て支援施設・制度の案内や、保育所・幼稚園一斉受付についての説明。図書館からの絵本展示、読み聞かせ実施。	28～29年度実施	○		○	子育て世帯に情報を発信するイベントのブースの中に絵本コーナーを設置し、図書館の認知と親子で絵本に親しむ。	○		○	○		健福祉課子育て支援室
大正区	読み聞かせ	大正区親子のつどい	主任児童委員会で、地域の子育てサークルの紹介を兼ねて、遊びやゲーム、舞台発表をする。絵本の会大正が読み聞かせ等を20分×2回実施。	25、28～29年度実施	○	○	○	子育て世帯に情報を発信するイベントのブースの中に絵本コーナーを設置し、図書館の認知と親子で絵本に親しむ。	○		○	○		保健福祉課

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)		R1年度状況	各区役所担当部署	
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年		自己評価	実施状況	H30年度	R1年度			
天王寺区	読み聞かせ	子育て支援事業	「あそびましょ～」の中で絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせの時間を10分くらい組み込んでいる。	27～29年度実施	○		○	絵本や紙芝居などを親子でいっしょに楽しむ	○		○	R1年度より8月の子育て情報博覧会「子育て支援施設ちよっと体験コーナー」にて絵本展示や、絵本読み聞かせを実施予定。	保健福祉課 子育て支援室		
浪速区	読み聞かせ	地域子育てサポートネットワーク事業 子育てサロン	子育てサロンの内容充実をはかる。遊びの提供・絵本の読み聞かせを実施。	25～29年度実施	○		○	子育てサロン利用者年間500組	○		○	子育てサロン内での読み聞かせを実施。	保健福祉課		
浪速区	えほんひろば	浪速区親子フェスタ	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク会議(通称:なにわっ子ネット)により開催。地域ボランティア団体が参加する8月「親子サマーフェスタ」(おもちゃ作り・ゲーム・あそび・絵本展・絵本読み聞かせ等)と、1月「親子えほんフェスタ」(絵本展・読み聞かせ等)の年2回。	25～29年度実施	○		○	・子育て中の親同士の交流の促進 ・子育てへの負担緩和	○		○	8月の「サマーフェスタ」、1月の「えほんフェスタ」での読み聞かせ実施。	子育て支援ネットワーク会議(保健福祉課子育て支援室)		
西淀川区	地域の読書スペース	図書に親しみ多世代が交流する環境作り事業	児童生徒の教育水準の向上や若者から高齢者まで世代を超えた生涯学習を推進していく上で、身近な場所に手軽に図書に親しむ又は自習を行えるような環境を整備していくために、本区ではH25年度末から2か所(姫里地域・佃地域)に「に～よん文庫」という図書・自習スペースを設けている。に～よん文庫はボランティアによる運営を行っており、H27年度からさらに1か所(川北地域)が開設している。	25～29年度実施	○	○	○	○	○		○	○	区民アンケートにおいて「あなたは図書に関心をもっていますか?」という設問を設定。59.9%が「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と回答。	H30年度に引き続き、「に～よん文庫」の運営等を通じて、区民に図書についての関心を持ってもらい、また、多世代交流を進めていく。	地域支援課(地域支援)
西淀川区	えほんひろば他	えほん展ふわふわ	年1回2日間開催している。当初西淀川区民会館が会場であったが、近年は西淀川区役所を会場としている。1000冊以上の絵本展示、各コーナーでのボランティアによる読み聞かせやイベントを行う。各子育て支援関連施設、ボランティアの方々、図書館などが協力して実施している。	25～29年度実施	○	○	○	○	○		○	○	取り組み内容変更なし	保健福祉課(福祉)	
淀川区	読み聞かせ	母親教室(妊婦教室)	1コース3回のうち参加者の交流の回次に、読み聞かせの時間を設ける。	25～29年度実施			○	年4回	○		○	○	継続実施	保健福祉課(健康相談)	

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25~29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)	R1年度状況	各区役所担当部署	
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年 保護者等成人		自己評価	実施状況				H30年度
淀川区	読み聞かせ他	生涯学習推進事業「ものがたり」のちから	絵本の読み語りのプログラムや絵本コーナーを設置するなどし、絵本の魅力、区の自然や歴史、世代間で伝えたいことを、さまざまな形の「ものがたり」として子ども達に伝えていくことを目的としたイベントを実施する。	25~29年度実施	○	○	○	アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	○	○	○	○	市民協働課	
淀川区	ボランティア支援	生涯学習推進事業「読書ボランティア講座」	区内小中学校を拠点に活動する読書ボランティアの新たな担い手発掘を目的として、読書と子どもの関わりに興味のある区民を対象に読書ボランティア活動の研修を行い、また既に活動中の読書ボランティアを対象に学校の図書室で活動するために役立つ知識や技術を身につけるための研修を行うことにより区における子ども達の読書環境の充実につなげる。	27~29年度実施				○ アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	○	○	○	○	市民協働課	
東淀川区	ブックスタート	ブックスタート事業	H25年11月より当区で絵本を選定し、3種類から養育者の希望する絵本を配布するとともに、実施場所も8施設に増やした。	25~29年度実施	○		○	区での絵本選定。ブックスタート実施場所8施設。	○	○	○	○	保健福祉課	
東淀川区	読み聞かせ他	絵本読み聞かせ事業	家庭での絵本読み聞かせ習慣の定着を促進するため「笑顔いっぱい絵本いっぱい東淀川」を合言葉に次のとおり取組みを行っている。 ・登録ボランティアによる1歳6か月児・3歳児健診時の絵本読み聞かせ(ボランティアバンク) ・区民からの寄贈絵本の募集(絵本バンク) ・区役所、出張所庁舎内に来庁者用の絵本コーナーを設置 ・活動の集大成となるイベント「東淀川えほんまつり」の開催(年1回) ・絵本や読み聞かせの楽しさを伝える内容のリーフレット作成(年1回) ・区内保育施設等と連携したざぶとん読み活動の普及等	25~29年度実施				○ アンケートにおいて、「暮らしや地域での活動に活かせる」との回答70%以上	○	○	○	○	保健福祉課(子育て・教育グループ)	
東成区	読み聞かせ	子育てネットワーク構築支援事業「子育て応援隊さんぽっぼ」	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供するボランティア活動(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)	27~29年度実施	○		○	ボランティアが主体性をもって、子育て支援できるスキルを身につける。	○	○	○	○	○	保健福祉課
東成区	えほんひろば	東成区子育てふれあいサークル大集合	区民ホールでの乳幼児と保護者、マタニティ世代向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25~29年度実施	○		○	地域の子育てサークルや子育て支援施設の周知。子育て中やこれから親になる人同士の交流の促進	×	×	×	○	○	保健福祉課

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25～29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)	R1年度状況	各区役所担当部署	
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年 保護者等成人		自己評価	実施状況				H30年度
東成区	えほんひろば	ひがしなりっ子すくすくつながるランド	各子育て機関等の紹介、区内幼稚園・保育園の5歳児によるうたの発表、親子ふれあい遊びなど。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25～29年度実施	○			①地域の子どもたちの未来を考え、未就園児の保護者に乳幼児期の大切さを意識してもらう機会にする。 ②未就園児の子どもたちに遊びを提供し、家庭での遊びのヒントにしてもらう。 ③子育て支援機関や地域全体で子育てを応援していることをしてもらう。	×		×	子育て支援機関や地域全体で子育てを応援していることをしてもらうために新規イベント「ひがしなりっ子すくすくつながるフェア(保育園(所)・幼稚園・認定こども園等合同説明会)」開催。このイベントでは図書館ブースは設けず。	保健福祉課	
生野区	読み聞かせ・その他	生きる力を育む絵本プロジェクト	・3か月健診時のブックスタート事業の紹介 ・「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 ・絵本イベント(H30年9月22日開催) ・絵本ボランティアの養成 ・キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 ・絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ ・区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置	29年度実施	○			・絵本ボランティア養成(10人以上) ・ボランティアの活動場所としての事業やイベントの構築1つ以上 ・区役所の各窓口で待ち時間を活用した子供向け絵本が読める環境づくりにより絵本の普及を図る。 ・3ヶ月健診後に希望者にブックスタート事業を実施し早期の絵本の普及と親子の読み聞かせ習慣の定着を図る。	○		○	・3か月健診時のブックスタート事業の紹介 ・「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 ・絵本イベント(R1年11月30日開催) ・絵本ボランティアの養成 ・キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 ・絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ ・区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置	保健福祉課	
生野区	学図支援	学校支援ボランティア人材バンク事業	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区の広報紙、HPや、地域でのチラシ回覧依頼	28～29年度実施		○	○	取組み内容の実施	○		○	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区の広報紙、HPや、地域でのチラシ回覧依頼済み。	地域まちづくり課	
旭区	絵本展示	保健福祉課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを2階に設けているが、季節に応じて絵本を入れ替える等して親子で絵本に親しみ楽しんでもらっている。	25～29年度実施	○	○	○	取組み内容の実施	○		○	○	保健福祉課	
旭区	ブックスタート充実	ブックスタート事業	区内のブックスタート拠点のなかった地域への拠点の設置、ブックスタートの実施	29年度実施	○		○	・城北地域での年4回実施 ・新森地域で拠点設置	○		○	○	R1年度より清水地域で年4回開催(新森地区から清水地区への変更)	保健福祉課
旭区	えほんひろば	子育て支援事業	イベント開催時に旭図書館の協力で絵本コーナー(絵本展示・読み聞かせなど)を設置する。	-	○		○	取組み内容の実施	○		○	○	保健福祉課	

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25~29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)	R1年度状況	各区役所担当部署		
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年		自己評価	実施状況					
城東区	えほんひろば・その他	絵本で子育てみんなで子育て事業	・図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展の開催 11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施 ・区役所ロビーでの絵本展の開催 ・乳幼児親子向けの読み聞かせ会を開催 ・絵本スポット 子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置	26~29年度実施	○			親子のふれあいや、親同士のコミュニケーションなど、子育てを応援し、また地域で活躍する人材を育成し、コミュニティを形成する。	○	・図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展を開催した。 ・11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施し、実施前には広報や子育て情報誌での周知を行った。 ・11月に区役所ロビーで絵本展を開催した。 ・2月に3回、乳幼児親子向けの読み聞かせ会を開催した。 ・子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置し絵本スポットを開設している。	○	△	11月に区役所ロビーで行っていた絵本展に代わる取り組みとして、絵本ライブ・絵本読み聞かせ・ワークショップ、大型絵本展など、絵本にスポットを当てたイベントを11月に行う。	保健福祉課(子育て教育)	
鶴見区	読み聞かせ	「つるみっ子ルーム」での読み聞かせ	区役所内「つるみっ子ルーム」で保育士による月1回の「おたのしみ会」(絵本の読み聞かせ等)を開催。	27~29年度実施	○			絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び等を通して、親子の関わり方をしらせる。	○	○	○	○	保健福祉課(子育て支援室)		
鶴見区	絵本展示	「つるみっ子ルーム」への絵本の借受け	鶴見図書館から、月1回30冊の絵本をお借りし、区役所内「つるみっ子ルーム」に配架。	-	○			多くの絵本を配架することで、身近に絵本にふれていただき、親子の関わりを密にさせていただく。	○	○	○	○	保健福祉課(子育て支援室)		
阿倍野区	えほんひろば	親子フェスタ	親子フェスタのイベント会場内に、「絵本コーナー」の部屋を設けて、複数のボランティアグループによる絵本読み聞かせ+ミニ絵本展(内容は図書館が適宜選定)を実施	25~29年度実施	○			○ 取組み内容の実施	○	○	○	○	○	阿倍野区子育て支援連絡会	
阿倍野区	絵本展示	あべの食育祭	あべの食育祭のイベント会場内に「絵本コーナー」を設けて、『食育』に関する絵本の展示や読み聞かせを実施	27~29年度実施	○	○	○	○ 図書館が選定した絵本の展示やリストの配布、読み聞かせを通して普及活動を実施	○	○	○	○	○	食育祭:保健福祉課(地域保健担当) 絵本コーナー:保健福祉課(子育て支援担当)	
阿倍野区	学図支援	学校支援ボランティア人材募集	区の広報で学校図書館支援ボランティアも対象に含まれる学校支援ボランティア人材募集にかかる募集記事掲載	28~29年度実施				○ 区広報での学校図書館支援ボランティア募集	○	○	○	○	○	市民協働課教育支援担当	
住之江区	読み聞かせ	あいあい相愛おはなしのへや	「咲洲ウェルネスタウン計画」に掲げた南港ポートタウンの魅力向上の取組みの一つ。住之江区と包括連携協定を締結している相愛大学(子ども発達学科)との協働プロジェクト。おはなし隊(相愛大学学生)による様々な形(劇や紙芝居、エプロンシアター等)での絵本の読み聞かせ。	27~29年度実施	○			○ 子育て層の地域住民が図書等に親しみ、気軽に交流できる環境の創出	○	○	○	○	○	○	総務課(企画)
住吉区	学図支援	市立小学校学校図書館活性化事業(司書資格者の派遣)	区内小学校のうちモデル校3校(平成27・28年度は2校)に週2回、図書館司書を派遣し、読み聞かせや調べ学習などの図書授業を行っている。モデル校以外の希望する学校にも出張授業を行っている。	27~29年度実施				○ 派遣校で、導入後のアンケートにおいて「読書が好きである」と回答した児童の割合80%以上	○	○	○	○	○	○	教育文化課

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次計画期間中(H25~29年度)の実施状況	事業の対象(主たる対象:○)			H30年度目標	H30年度末状況		実施年度(実施:○)		R1年度状況	各区役所担当部署
					乳幼児	小学生	中学生以上未成年		自己評価	実施状況	H30年度	R1年度		
東住吉区	学図支援	学校支援ボランティア人材バンク	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度	27~29年度実施				学校の多様な活動希望条件に対応できるような人材確保	○	○	○	○		区民企画課
東住吉区	えほんひろば	子育てOHえんフェスタ	区民ホールでの乳幼児向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	25~29年度実施	○			○ 取組み内容の実施	○	○	○	○	8月31日に実施予定	保健福祉子育て支援室
東住吉区	えほんひろば	保健福祉課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを設けていて、そこに図書館から貸し出しを受けている絵本や保護者向けの育児書を展示し、手にとって見てもらったり、読みかかせをしたりして絵本に親しみ楽しんでもらっている。	26~29年度実施	○	○		○ 取組み内容の実施	○	○	○	○		保健福祉子育て支援室
東住吉区	学図支援	(区広報誌等での学校図書館支援ボランティア募集)	区広報誌などで11月号・区ホームページに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。また、地域での学校図書館支援ボランティア募集ちらしの回覧を依頼。	-				○ 取組み内容の実施	○	○	○	△	区広報紙および区ホームページに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。	区民企画課
平野区	読み聞かせ	平野区子ども学力サポート事業	児童の学習支援と居場所づくりのために、教員をめざす大学生を中心に(地域のボランティアも含む)小学校へ派遣し、学習習慣の定着をはじめ、子どもたちに「生きる力」を身につけてもらえるよう支援する。支援内容は各学校が求めにより異なり、「読み聞かせ」や学校図書館への支援の事例もある。	25~29年度実施		○		参加児童のうち「以前より学ぶことが楽しい」と感じる児童の割合70%以上	○	○	○	○		政策推進課
平野区	読書ノート等	平野区読書習慣の定着事業	読んだ本のタイトルを記録できる「ひらちゃん読書ノート」(1~4年生用、5・6年生用・中学生用)を作成し、1~4年生は100冊以上、5・6年生・中学生は3000ページ以上を読んだ児童には、区から表彰する。また3~5歳児用の「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成している。	29年度実施	○	○	○	児童・生徒の読書習慣や家庭学習・生活習慣が向上したと感じる小・中学校の割合50%以上	○	○	○	○		政策推進課
西成区	読書ノート等	西成区子どもの読書活動推進支援事業	読書活動を行うきっかけづくりとして、読書カードを全児童に配付する。 対象者が4月1日~翌年1月31日までに読了する目標冊数を設定。 目標読了冊数 小学校1年・2年 100冊 小学校3年・4年 70冊 小学校5年・6年 50冊 中学校1年~3年 50冊 通年実施のうえ、年度末に年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。 ・年間目標を達成した児童生徒に賞状授与 ・区分ごとに読了冊数が最多の者に表彰状及び記念品授与 なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものを基本とする。	28~29年度実施		○	○	目標冊数を達成する児童生徒が、全児童生徒数の5%を超える。	○	○	○	○	読書カードの配付を原則廃止。各校の独自様式や希望校には当分の間は読書カードの在庫を配付し、表彰制度のみ継続する。	保健福祉課(子育て支援)

【資料5】区における子どもの読書活動の取組みについて(平成30年度実施状況および令和元年度取組み状況)

区名	種類	事業名	取組み内容	第2次 計画期 間中 (H25~ 29年 度)の 実施状 況	事業の対象 (主たる対象: ○)				H30年度目標	H30年度末 状況		実施年度 (実施:○)		R1年度状況	各区役 所 担当部 署
					乳 幼 児	小 学 生	中 学 生 以 上 未 成 年	保 護 者 等 成 人		自己 評価	実施 状況	H 30 年 度	R1年度 継続実 施:○ 実施せ ず:× 内容変 更:△ 新規:◎		
西成区	絵 本 情 報 他	にしなり子 育て情報 誌ハ ギッズ	図書館での絵本おたのしみ会・区内 ブックスタート日・絵本紹介などを2ヶ 月に1回発行。	28~29 年度実 施					○	身近に絵本に出会える場 を紹介し、絵本に親しむ きっかけとする。	○	○	○	○	保健福 祉課(子 育て支 援)
西成区	読 み 聞 か せ 他	子育ての 集い	区役所と区内の子育て関連施設で 構成される「わが町にしなり子育て ネット」により開催(区役所は後援)。 図書館や区内子育て施設職員によ る絵本の読み聞かせを実施。イベ ントのブースの中で図書館によるぐ らなりきりコーナーを設置したり、 絵本ボランティアによる大型絵本・パ ネルシアター等の紹介。	28~29 年度実 施	○			○	○	図書館・子育て支援施設 の認知と親子で絵本の世 界を楽しむ。 子育てへの負担緩和。	○	○	○	○	R1年7月9日(火)実施 保健福 祉課(子 育て支 援)
西成区	読 み 聞 か せ	にしなりあ そぼパー ク★ Project	区役所と区内の子育て関連施設で 構成される「わが町にしなり子育て ネット」により開催(区役所は後援)。 図書館や区内子育て施設職員によ る絵本の読み聞かせ・パネルシア ターを実施。	25~29 年度実 施	○	○	○	○	○	イベントのブースの中で絵 本を楽しむコーナーを設置 し、図書館・子育て支援施 設の認知と親子で絵本に 楽しむ。 子育てへの負担緩和。	○	○	○	○	事業の1つとして「元気 まつり」をH30年5月26 日に開催。その中で絵 本の読み聞かせブース を設置。 事業の1つとして「元気 まつり」をR1年6月1日 に開催。その中で絵本 の読み聞かせブースを 設置。 保健福 祉課(子 育て支 援)

各区 子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、「区子どもの読書活動推進連絡会」を開催し、関係者間で情報交換を行っています。全 24 区で、平成 30 年度には各区年 1 回以上、および令和元年度は、5 月から 7 月にかけて各区 1 回ずつ、連絡会を開催しました。本まとめでは、連絡会で出た意見等の中から、多くの区で話題になり、関心が高かったこと、今後の子ども読書活動の推進に参考になるとと思われる事例やアイデアをピックアップしてご紹介します。

1 連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】各ボランティアグループの代表者（推薦された者）

【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】（地域の実情に応じて要請）

ボランティア・市民活動センター（旧ボランティアビューロー）、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など

【子育て支援施設】子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など

【就学前施設】公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など

【学校】教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事（管理職）、司書教諭、学校図書館主任など（代表出席）

【区役所】教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局（各区市立図書館）】館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター

2 活動の状況

(1) 読み聞かせ等、読書推進の現場で（主にボランティアの報告・意見）

- ・ブックスタートに両親揃っての参加が多く、特に父親が熱心に聞いてくれている。施設によって、母親・父親向けの本を読み聞かせをしている。
- ・図書館の「えほんのじかん」にも父親の参加が増えてきた。
- ・ブックスタートで意外だったのは、2 人目の子どもの時に初めてブックスタートに参加されることが多い。2 人目の子育ての時に初めて絵本に興味を持ったとのこと。
- ・わらべうたを知らない保護者が多いと感じる。おたのしみ会でわらべうたをうたうと子どもたちが笑顔になるので、わらべ歌の良さを知ってもらう機会になればと思う。
- ・親子の時間のサポートを心がけている。
- ・本を楽しむことを重視している。
- ・参加者と一緒に楽しむ雰囲気のおはなし会になることが多い。
- ・えほんのじかに参加する子どもの低年齢化を感じる。
- ・なかなか小学生以上（特に高学年）は参加してくれない。

【資料 6】

- ・人口が増え、工事中の場所が多く、街全体の様子が変わっていくことに、お母さん方に不安があると聞いており、子どもは落ち着かないのではと思っている。小学校の読み聞かせの際、教室での読み聞かせは工事の音がうるさいため、急遽音楽室へ移動することになったこともある。
- ・知的障がい児の放課後デイサービスで読み聞かせをしている。子どもだけでなく、気持ちが少しでもほっこりしてもらえたらとお母さんのために選んだ絵本も読んでいる。
- ・外国にルーツを持つ子どもが増えている。おはなし会やブックトークをこのままやっていた方がいいのか。外国語を取り入れたり、自分たちの日本語に気を付けたりする必要があるのかと思う。

(2) 子育て支援施設等の現場で（主に施設職員の報告・意見）

- ・子どもは絵本が好きだが、保護者を見ていると家で読む機会が減っているように感じる。
- ・「今回読んだ絵本」「最近はやっている絵本」を展示している。繰り返しのフレーズのある絵本だと、字が読めない子もおはなしを覚えた。このことを保護者に伝えて、絵本へのきっかけにしている。
- ・発達障がいと絵本の読み聞かせについて勉強をしている。
- ・子育てプラザでは、子どもが父親と一緒に来ることが多くなっている。
- ・「子どもビブリオバトル」を当日自由参加形式で開催した。参加者が小学生から高校生まで、意外と多かった。
- ・小学生、中学生対象にボランティア体験事業を行っている。今年は、30人ぐらい申し込みがあった。小学生が多い。
- ・子どもたちに絵本を貸出し、家での読み聞かせをした時の子どもの様子や感想などを絵本カードに書いてもらっている。
- ・図書館で借りた絵本を幼稚園玄関の面展台上に並べて、ゆったりとひろば読みをしている。
- ・読み聞かせに参加する子どもも0歳児、1歳児が多くなってきている。そのため図書館から借りている絵本から小さい子向けのものを40冊ほど選別し、母親向けの本を少し合わせて設置するようにしている。
- ・赤ちゃんルームに、離乳食の本など保護者向けの図書を置くようになった。
- ・絵本や育児などの大人向けの本を用意。保護者が昔読んでいた絵本を楽しんだり、実用書を熱心に読んだりしている。
- ・月に1~3回、法人で契約しているネイティブ講師による外国語絵本の読み聞かせや、多文化に触れる活動をしている。
- ・絵本アドバイザーによる読み聞かせを行っている。
- ・絵本セラピストによる絵本セラピーを月に1回行っている。

(3) 学校における読書推進、学校図書館の活用推進について

① 学校図書館補助員の配置（主に教員の報告・意見）

- ・週1回でも補助員が行くことで、学校図書館の状況は目覚ましく向上している。
- ・各校に週1回補助員を配置しての「学校図書館活用推進事業」も定着してきている。学校図書館は、雨の日など、運動場が使えない日は特に利用が多い。補助員に10人くらいの子どもたちが群がっていることもある。
- ・補助員はいろいろな経歴の人がいて、入れ替わりもある。学校図書館で簡単に取り組めるイベントについての情報共有や、図書館整備の方法について学ぶなど、各種研修を行っている。今後は教員

【資料 6】

に対する手助けや、子どものニーズに対応する力をつけることが課題。

- ・中学生が図書館でゆっくり過ごす時間は皆無。10 分の休憩時間も移動時間になってしまっている。その中で、補助員が入ることで少しずつ整備されてきた。

② 小学校での取り組み

(学校図書館ボランティアの報告・意見)

- ・読書ノートを作成し、多く読んだ子どもには、しおりと金メダルを渡した。
- ・発達障がいの子どもの向けのお楽しみ会を行う計画。今回初めての企画なので、やってみた感じで次回の企画を検討したい。
- ・毎年自主研修を行っており、今年も外部講師を呼ぶなどして研修に努めたい。

(教員の報告・意見)

- ・エントランスホールに机、いす、20 冊(入れ替えあり)程度の本を置いて自由に読める空間を作っている。
- ・4, 5, 6 年生全児童が 1, 2, 3 年生の全児童へ、3 人ずつグループ読み聞かせを実施した。
- ・入学式に読み聞かせを実施している。
- ・分類を 2 桁まで展開して、図書を探しやすくしたり、高学年向きを上の棚に、低学年向きを下の棚へ置いたりなどの工夫を考えている。
- ・生涯学習ルームと学校図書館ボランティアが連携して絵本の読み聞かせ講座を開催しており、他校からの参加があるほど反響がある。
- ・「こども読書週間」に 4~6 年生が、ブックウォークに取り組んだ。3 年生以下は B5 用紙に「こんな本読んだよ」(読んだ本を絵と感想で紹介)を作成した。

ブックウォーク：子どもが自分でテーマを選び、その目的に沿った本をどのように読むか計画を立てて、実行する。

- ・アニメーションを行った。

アニメーション：魂を活性化し元気にするという意味で、スペインで始まった子どもたちに読書の楽しさを伝える方法。計 75 の〈作戦〉がある。

- ・ビブリオバトルに一昨年から取り組んでおり、4~6 年生の担任の先生に、7 月の国語の時間での実施を提案中。
- ・各学年で文章を書く練習として「本の紹介カード」を作成。いくつかを廊下に掲示した。
- ・今年は図書委員会を中心にやっ払いこうと考え「どんなことをしたらみんな本を好きになってくれるかな?」と問いかけたところ、読み聞かせ、ポスター、本の紹介などの意見が出たので、1 学期はおすすめの本を 1 人 1 冊選んで紹介文を書いたポスターを描くことにした。本の写真とともに図書室前に掲示予定。
- ・放送委員が放送で読み聞かせを行った。
- ・栄養教諭と図書主任と補助員と協力して、給食のメニューに関連した絵本展示を行った。

③ 中学校での取り組み (ボランティア・教員からの報告・意見)

- ・朝の読書を実施しているが、非常に落ち着いた状態で授業に入ることができている。

【資料 6】

- ・学年ごとに新聞紙面を教師が切り抜いて設問を作成する『新聞にチャレンジ』を実施。
- ・新学習指導要領でタブレットなどの使用、英語教育の強化など新たな課題があり、読書時間を確保するのに苦労している。
- ・朝の読書は定着している。学級文庫のほか、自宅から本を持参する子もいる。
- ・今の中学生はそれまでに絵本や児童文学に親しまず、中学に入って、いきなりライトノベルを読むように思える。
- ・ビブリオバトル開催。予選を行うことで学年代表を決定し、文化祭にて各学年代表者によるビブリオバトルを開催した。

(4) 区役所での取り組み（区職員からの報告・意見）

- ・区役所にはいろいろな情報が集まってくるので、どこかとどこかをつなげるといった仲介的な役割ができると思う。
- ・待合スペースに絵本の設置を行っている。子育て応援団などのサークルと連携し、絵本を設置してもらっている。あるサークルでは、自分の子どもが一番好きな絵本を持ってきてもらい保護者が交代で読むということが行われており、自分の子育てを振り返る機会になったという感想をいただいた。
- ・相愛大学との連携事業「あいあい相愛おはなしのへや」として、大学で平成 28 年 6 月から 2 か月に 1 回の頻度で、1 時間の読み聞かせを行っている。

3 活動にあたっての悩み、改善へのヒント・アイデア

(1) ブックスタートについて

- ・参加率が低い。
- ・施設によって、参加者の数もばらつきがある。
- ・ブックスタートをきっかけに親子で本を楽しむ時間をもっと持ってほしい。
- ・関連施設にお知らせを貼れないか。
- ・具体的にこの絵本がもらえますよということを、年に 1 回でも広報に載せるとよいのでは。

(2) ボランティア全般について

- ・ボランティアの人数不足が悩み、活動は個人によって偏りがある。
- ・新たなボランティア参加者が増えない。現メンバーも諸事情で忙しく、打ち合わせや練習時間をとりにくい。
- ・メンバーの高齢化がすすみ、続けていけるかが課題。
- ・若い人が、なかなか入ってこない。
- ・ボランティア活動中の災害時の対応について、手引きになるようなものが欲しい。
- ・上手な読み聞かせだけを見ていて、自分ではやりづらいついて感じてハードルをあげてしまっているお母さんがいる。

(3) 子育て支援施設等において

- ・保護者からは、本を汚してしまうかもと心配の声があった。
- ・絵本コーナーに 0 から 2 歳児向けの本を増やしたい。
- ・いろいろほしい本はあるが、新しい絵本をどんどん買っていくのは難しい。

【資料 6】

- ・小学生の興味がある新しい本は手に取ってもらえるが、古い本は手に取ってもらえない。
- ・子どもたちには、幅広いジャンルの絵本に触れてほしいと思っている。
- ・どこまで保護者にアピールできるか。家で絵本を読んでもらうなど家庭を巻き込んでいきたい。
- ・家で手遊びや絵本の読み聞かせをするのは恥ずかしいと感じる親がいる。一対一が辛いようだ。
- ・ざぶとん読み（子どもを膝に座らせて読む）に取り組んでいきたい。
- ・子育てサロンにも、絵本の読み聞かせのボランティアを派遣して欲しい。ほとんどのサロンに人材はいるが、赤ちゃんに読み聞かせは必要ない、という考え方の所もあり、他の地域からでも来てもらえたらと思うことがある。

(4) 学校において

① 小学校

- ・「英語のモジュール学習」の実施により朝の読書タイムが月 2 回になってしまい、時間に余裕がないと感じている。
- ・図書の授業の中で図書館を活用したいが、教員が打ち合わせする時間が取れない。本当は補助員の方とゆっくり話をしたい。
- ・地域に遊ぶ場所がない、公園も近くにないので、晴れているときはとにかく外で遊びたがる。図書室において、と呼び掛けてもなかなか来ない。担任を受け持つクラスの児童には、教員自身が読み聞かせをしている。どうやって子どもたちに本を読んでもらうかが課題。
- ・学校図書館の整備を進めており、図書の点検を兼ねて分類の確認をしている。
- ・図書委員のおすすめの本の掲示や、「読書の木」も予定している。

② 中学校

- ・校内での時間の取り合いのような状況がおこっており、英語の時間を入れるために朝読をやめないといけないなど、何をメインにしていくか、選択が難しい。
- ・給食のため昼休みの休憩時間が減ったので、学校図書館が利用しにくくなった。少しの休憩時間でも図書館に行こうとする子もいるが、現状として利用が減っているのが課題である。
- ・学校に来られなくても、図書館や保健室までなら来ることができる子もいるので、図書館開放を継続し生徒の居場所になればと感じている。
- ・授業の中での図書館利用、絵本の読み聞かせを行う。
- ・朝の読書のための本を揃えた学級文庫を 2 学期より新設予定。原則は、自分で選んだ本でジャンルを問わない、とわかっているが、参考書での勉強をさせないために内容にある程度制限をかけている。原則とは異なるやり方をしていることには複雑な思いがある。
- ・図書をコンピューター管理できるようになっておらず、目的をもって本を探しにくる生徒が検索できないなど、不便な思いをさせている。
- ・本を読まない子や手に取らない子に、どのような声掛けをしていけばよいのか。

③ とりわけ、学校図書館ボランティアについて

- ・学校関係者や保護者だけでなく、地域の一般の人にも活動に参加してもらいたい、なかなか周知できていない。
- ・学校図書館の開館時間の拡大が難しい。ボランティアの活動が止まっており、確保したい。

【資料 6】

- ・ボランティアがいろいろとアイデアを出してくれるが、担当教員と相談をする時間が確保しづらく、実現に至らない。

④ 児童いきいき放課後事業

- ・いきいきの中でどういった活動ができるかしっかり分析して、取り組んでいきたい。

(5) 区役所において

- ・保育園や幼稚園に行く前の子について、親がスマホに夢中なためか、2歳児でもスマホ操作をしている。絵本への習慣づけを何とかできないかと苦慮している。絵本があれば手に取るお母さんもいるが、やはりスマホに夢中である。学校もいろいろと工夫しているが、ブックスタート参加率が30から40%と低迷しているなので、なんとかしたい。
- ・待合用の絵本コーナーをリニューアルしたい。季節に応じた絵本を配置したい。

【資料 7-1】

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」(平成18年3月策定、平成30年3月「第3次」計画策定)に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動に関する連携を進め、子どもの読書活動を推進するため、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」(以下「市推進連絡会」という)を設置する。

2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」(以下「区推進連絡会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 「市推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 各区の「区推進連絡会」での協議の集約、および課題解決に向けた情報共有に関すること。
- (2) 「大阪市子ども読書活動推進計画」の進行管理に関すること。
- (3) 子ども読書の日(4月23日)記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
- (4) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
- (5) その他、本市における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

2 「区推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 地域における子どもの読書支援活動の取組み状況報告に関すること。
- (2) 施設間、団体間の情報交換や、「市推進連絡会」で協議された他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
- (3) 学校図書館活用推進事業の進捗状況の報告に関すること。
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有に関すること。
- (5) 子どもの読書支援活動に関する広報・啓発活動の実施に関すること
- (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 「市推進連絡会」は、別表1に掲げる組織、団体から推薦された者及び学識経験を有する者より構成する。

2 「区推進連絡会」は、別表2に掲げる団体等を参考に地域の実情に応じて構成する。

【資料 7-1】

(座長)

第4条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」に、それぞれ座長を置く。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、中央図書館副館長とする。
- 3 各「区推進連絡会」の座長は、各区の市立図書館館長または担当係長とする。
- 4 座長は会議を主宰し、会議の議事を進行する。
- 5 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

(「区推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区推進連絡会」に、「市推進連絡会」の構成員となる代表者を置く。

- 2 代表者は、各「区推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第6条 「市推進連絡会」の事務局は大阪市立図書館利用サービス担当に置く。

- 2 各「区推進連絡会」の事務局は各区の市立図書館が担う。

(会議)

第7条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」は、各会議の座長が構成員を招集して開催する。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、必要があると認めるときは、関係部局の職員に会議への出席を求めることができる。

(施行の細則)

第8条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

附則 この改正要綱は平成31年 4月 1日から施行する

【資料 7-1】

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

(別表1) 市推進連絡会

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪市PTA協議会
- ・ 大阪市生涯学習推進員協議会
- ・ 学識経験者
- ・ 大阪市教育委員会事務局生涯学習部
- ・ 大阪市教育委員会事務局指導部
- ・ 大阪市立図書館

(別表2) 区推進連絡会

種別	構成団体等 (例)
読書活動支援ボランティア	各ボランティアグループの代表者 (推薦された者)
地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など(地域の実情に応じて)	ボランティア・市民活動センター (旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
子育て支援施設	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など
就学前施設	公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など
学校 (代表出席)	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職) 司書教諭、学校図書館主任など
区役所	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局】

各区市立図書館	館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター
---------	---------------------------------

傍線は削除
太字は改正

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱（改訂箇所明示）

（設置）

- 第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」（平成18年3月策定、**平成30年3月「第3次」計画策定**）に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動に関する連携を進め、**子どもの読書活動を推進**するため、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」（以下「**市推進連絡会**」という）を設置する。
- 2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」（以下「区推進連絡会」という）を設置する。

（所掌事務）

- 第2条 「**市推進連絡会**」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。
- (1) **各区**の「区推進連絡会」での協議の集約、**および課題解決に向けた情報共有**に関すること。
 - (2) 「**大阪市子ども読書活動推進計画**」の進行管理に関すること。
 - (3) 子ども読書の日（4月23日）記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
 - (4) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
 - (5) その他、本市における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。
- 2 「区推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。
- (1) 地域における子どもの読書支援活動の**取組み状況報告**に関すること。
 - (2) 施設間、団体間の情報交換や、「**市推進連絡会**」で協議された他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
 - (3) 学校図書館**支援モデル事業**の進捗状況の報告に関すること。
- 活用推進**
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有化に関すること。
 - (5) 子ども対象の読みきかせやおはなし会、子どもの読書支援活動に関する講座の開催
広報・啓発活動の実施
に関すること。
 - (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

【資料 7-2】

(構成)

第3条 「市推進連絡会」は、別表1に掲げる**組織、団体等の代表者（推薦された者）**
から推薦された者及び学識経験を有する者
により構成する。

2 「区推進連絡会」は、各区内の図書館、学校、幼稚園、保育所、区役所、保健福祉センター、子ども・子育てプラザ、子育てサロンなど、子どもの読書活動に関わる関係機関の職員および読書支援活動グループ等の代表者の参加により、開催する。
別表2に掲げる各区内の団体等を参考に地域の実情に応じて構成する

(座長)

第4条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」に、**それぞれ**座長を置く。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、の構成員の互選により選出する。
中央図書館副館長とする
- 3 各「区推進連絡会」の座長は、各区の市立図書館館長または担当係長とする。
- 4 座長は会議を主宰し、会議の議事を進行する。
- 5 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

(「区推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区推進連絡会」に、「市推進連絡会」の構成員となる代表者を置く。

- 2 代表者は、各「区推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第6条 「市推進連絡会」の事務局は大阪市立図書館利用サービス担当に置く。

- 2 各「区推進連絡会」の事務局は各区の大阪市立図書館に置く。
が担う

(会議)

第7条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」は、事務局が構成員を招集して開催する。

各会議の座長

2 「市推進連絡会」の座長は、必要があると認めるときは、関係部局の職員に会議への出席を求めることができる。

(施行の細則)

第8条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

附則 この改正要綱は平成31年 4月 1日から施行する。

【資料 7-2】

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

（別表 1）市推進連絡会

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪市PTA協議会
- ・ 大阪市生涯学習推進員協議会
- ・ 学識経験者
- ・ 大阪市教育委員会事務局生涯学習部
- ・ 大阪市教育委員会事務局指導部
- ・ 大阪市立図書館

（別表 2）区推進連絡会

種別	構成団体等（例）
読書活動支援ボランティア	各ボランティアグループの代表者（推薦された者）
地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など（地域の実情に応じて）	ボランティア・市民活動センター（旧ボランティアビューロー）、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
子育て支援施設	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など
就学前施設	公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など
学校（代表出席）	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事（管理職） 司書教諭、学校図書館主任など
区役所	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局】

各区市立図書館	館長または担当係長、司書職員、学校図書館補助員コーディネーター
---------	---------------------------------

【資料8】

令和元年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿(除事務局)

《参考》

(令和元年9月20日)

	お名前 (敬称略)	代表区分	所属・役職名等	
1	久 隆 浩	有識者	近畿大学教授	
2	村 岡 益 子	有識者	全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー	
3	谷 村 利 貴	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会 研修委員長	
4	梅 原 啓 志	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会 広報情報推進委員長	
5	越 智 俊 夫	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会 会長	
6	豊 嶋 睦 子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会 副会長	
7	岡 崎 仁 子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会 副会長	
8	大 久 保 由 美 子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北	絵本の会北
9	前 崎 美 代 江	同上	都島	都島えほんの会 ふぁいと!
10	大 田 み さ 子	同上	福島	マトリョーシカ
11	福 田 清 美	同上	此花	此花図書館絵本の会
12	釣 島 恭 子	同上	中央	絵本の会島之内
13	畑 中 一 美	同上	西	絵本の会西
14	呼 元 邦 枝	同上	西	FUERUTO
15	井 上 紀 子	事例発表者	西	FUERUTO
16	杉 田 貴 世 子	事例発表者	西	FUERUTO
17	竹 原 勝 美	事例発表者	西	FUERUTO
18	堀 尾 公 代	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	港	絵本の会みなと
19	小 泉 美 知 江	同上	大正	おはなしボランティア アナンシ
20	野 田 祐 子	同上	天王寺	天王寺おはなし「ぼちぼち」
21	上 田 道 代	同上	浪速	なにわえほんの会
22	平 良 美 知 子	同上	西淀川	絵本の会西淀川ぼけっと
23	池 上 直 子	同上	淀川	大阪市立十三中学校元気アッププロジェクト 地域コーディネーター
24	渡 邊 裕 美 子	同上	東淀川	おはなしボランティアとことこ
25	上 垣 敬 子	同上	東成	絵本の会東成
26	山 野 真 千 代	同上	生野	あじさいブッククラブ
27	木 原 三 智 子	同上	旭	絵本の会あさひ
28	中 山 良 子	同上	城東	城東絵本の会
29	橋 口 由 紀 子	同上	鶴見	絵本の会鶴見
30	吉 谷 由 美	同上	阿倍野	あべのおはなしポケット
31	原 田 悦	同上	住之江	絵本の会住之江
32	山 田 逸 子	同上	住吉	住吉絵本の会
33	榎 本 敦 子	同上	東住吉	おはなしたまてばこ
34	山 村 富 廣	同上	平野	平野図書館絵本の会
35	西 浦 直 子	同上	西成	西成絵本の会

【資料9】

令和元年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会関係職員名簿

(令和元年9月20日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
生涯学習部部長兼中央図書館館長	三木 信夫
中央図書館副館長	川窪 和子
中央図書館総務担当課長	黒野 大輔
中央図書館利用サービス担当課長	宮田 英二
中央図書館地域サービス担当課長	長谷部 絵理
中央図書館地域サービス担当課長代理	戸倉 信昭
中央図書館利用サービス担当課長代理	林 隆子
中央図書館利用サービス担当課長代理	藤井 直美
中央図書館 担当係長	窪田 聡美
” ”	正井 文博
” ”	小笠原 智香
” ”	野村 由紀
” ”	西尾 真由子
” ”	檜崎 佳代
” ” (兼)	保原 早苗
” 総括指導主事 (兼)	片岡 万喜雄
” 総括指導主事 (兼)	関谷 茂俊
北図書館長	石田 玉恵
都島図書館長	井上 有佐
福島図書館長	竹田 君代
此花図書館長	片山 理子
島之内図書館長	松山 智子
港図書館長	松本 実
大正図書館長	浅川 裕俊
天王寺図書館長	川嶋 恵子
浪速図書館長	濱田 千賀子
西淀川図書館長	平田 満子
淀川図書館長	森家 さち子
東淀川図書館長	小西 敏章
東成図書館長	野村 薫
生野図書館長	竹内 景子
旭図書館長	井上 由美子
城東図書館長	荒木 麻里
鶴見図書館長	田野 晶子
阿倍野図書館長	鎌田 恵子

所 属	氏 名
住之江図書館長	波多野 圭子
住吉図書館長	濱田 仁美
東住吉図書館長	中田 夕子
平野図書館長	角田 人志
西成図書館長	岩佐 孝司

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
初等教育担当課長	弘元 介
中学校教育担当課長	盛岡 栄市

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	松村 智志
生涯学習部担当係長	山本 竜司

【関係部局】

所 属	氏 名
こども青少年局企画部 放課後事業担当課長	九之池 直美
経済戦略局文化部 こども 本の森整備担当課長	杉田 順子

【実践事例報告】 (発表順)

所 属	氏 名
住之江区役所総務課 担当係長	福井 智子
住之江区役所総務課 担当係長	峯上 和博
大阪市立加美東小学校 教頭	千原 信一
大阪市立加美東小学校 教諭	山口 哲平
大阪市立加美東小学校 教諭	田原 里実

「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 令和2（2020）年2月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20